EDIROL by Roland



R-09

24 bit WAVE／MP3 RECORDER

取扱説明書

パッケージ内容の確認

R-09には、次のものが付属しています。パッケージを開けたら、すべてのものが入っているか確認してください。不足している場合は、お買い上げになった販売店までご連絡ください。

※ 製品および付属品の外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

❑ R-09



※ ディスプレイに貼ってある保護シートを剥がしてからお使いください。

❑ SDメモリー・カード

R-09で録音や再生を行うときに必要なメモリー・カードです。



❑ 取扱説明書

本書です。常に手元において、いつでも参照できるようにしてください。



❑ ACアダプター

R-09専用のACアダプターです。
必ず付属のものをお使いください。



❑ ローランド ユーザー登録カード

R-09のユーザーとして登録していただくための登録カードです。ローランド ユーザー登録カードに記載されている登録方法をお読みになり、必ずユーザー登録をしてください。



❑ USBケーブル（ミニBタイプ：1m）

パソコンのUSB端子とR-09を接続するためのケーブルです。



メモ

ACアダプター、USBケーブルが破損などにより新しいものが必要になった場合には、保証書の封筒に記載されている「修理の窓口」までお問い合わせください。

❑ 保証書

R-09本体の保証書です。保証期間内にR-09の修理を受ける際に必要ですので、記載事項を確認の上、大切に保管してください。

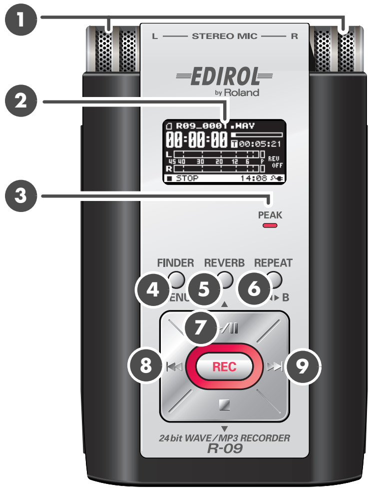


保証書の封筒に記載されている『修理の窓口』はR-09本体の修理に関する問い合わせ先です。R-09の操作などに関するお問い合わせは、巻末に記載の『お問い合わせの窓口』までご連絡ください。

目次

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」（P.103）と「使用上のご注意」（P.105）をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

各部の名称とはたらき



❶ 内蔵マイク

R-09 本体内蔵のステレオ・マイクです。➜『内蔵マイクを使う』（P.29）

❷ ディスプレイ

R-09 のさまざまな情報を表示します。➜『ディスプレイに表示される情報』（P.12）

❸ PEAK インジケーター

入力や出力の音量が大きすぎる場合に点灯します。録音の際に [PEAK インジケーター] が点灯していると、歪んだ音が録音されてしまいます。[インプット・レベル・ボタン（–）⓮] で音量を小さくしてください。➜『録音レベルを調節する』（P.37）

❹ FINDER/MENU ボタン

画面の切り替えや、EXIT（操作を中止したり、前の画面に戻る）操作を行います。
➜『基本操作』（P.13）

現在の画面	動作
【基本画面】（P.11）	【ファインダー画面】に切り替え
	ボタンの長押しで【メニュー画面】に切り替え
【ファインダー画面】（P.11） 【メニュー画面】（P.11）	操作を中止したり、前の画面や【基本画面】に戻る

❺ REVERB ボタン

リバーブ機能のオン／オフ、リバーブ種類の切り替えを行います。
➜『再生時にリバーブ効果をかける』（P.54）

用語

REVERB（リバーブ）

大きなホールなどで演奏しているような残響を加えるエフェクト（効果）です。リバーブの種類はホール 1、ホール 2、ルーム、プレートの 4 種類から選ぶことができます。➜『リバーブの種類』（P.54）

❻ REPEAT ボタン

曲の途中の 2 点間（A − B の区間）を繰り返し再生させることができます。
曲中に A マークと B マークをつけると、A マークと B マークの間をリピート再生します。
１回押すと A マークがつき、もう一度押すと B マークがつきます。➜『設定したある区間を繰り返し再生する』（P.46）

❼ PLAY/PAUSE ボタン（ ►/II ）

再生を開始します。また、再生や録音を一時停止します。
また、ディスプレイ上のカーソル位置を上方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。➜『基本操作』（P.13）

現在の画面	状態	動作
【基本画面】	停止状態	再生
	再生中	再生の一時停止
	録音待機状態（REC ボタン点滅）	録音開始
	録音中（REC ボタン点灯）	録音の一時停止
【ファインダー画面】 【メニュー画面】	—	カーソルを上方向に移動 値の変更

❽ RWD ボタン（ ⏮ ）

曲の頭出しや前曲の選択をします。押し続けると、押している間曲を巻き戻します。
再生中、停止状態のどちらの状態でも操作できます。
また、ディスプレイ上のカーソル位置を左方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。➜『基本操作』（P.13）

現在の画面	現在の状態	動作
【基本画面】	曲の途中	曲頭に移動
	曲の先頭	前曲に移動
	曲の途中、先頭、停止中	押している間、巻き戻し
【ファインダー画面】 【メニュー画面】	—	カーソルを左方向に移動 値の変更

❾ FWD ボタン（ ⏭ ）

次の曲を選択します。押し続けると、押している間曲を早送りします。
再生中、停止状態のどちらの状態でも操作できます。
また、カーソルの右キー（カーソルを右方向に移動）として機能したり、選択項目の値を変更したりします。➜『基本操作』（P.13）

現在の画面	現在の状態	動作
【基本画面】	曲の途中	次曲に移動
	曲の先頭	次曲に移動
	曲の途中、先頭、停止中	押している間、早送り
【ファインダー画面】 【メニュー画面】	—	カーソルを右方向に移動 値の変更



⑩ STOP ボタン（■）

再生や録音を停止します。
また、ディスプレイ上のカーソル位置を下方向に移動させたり、選択項目の値を変更したりします。➜『基本操作』（P.13）

現在の画面	状態	動作
【基本画面】	再生中	再生の停止
	録音待機状態（REC ボタン点滅）	録音待機状態の解除
	録音中（REC ボタン点灯）	録音の停止
【ファインダー画面】 【メニュー画面】	—	カーソルを下方向に移動 値の変更

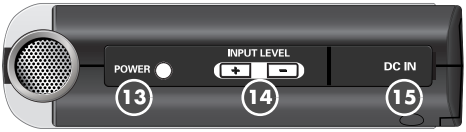
⑪ REC インジケーター

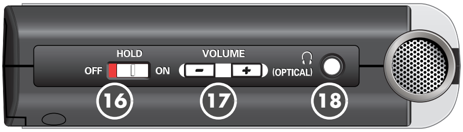
録音（REC）状態のときに赤く点灯します。
録音待機（REC PAUSE）状態のときに点滅します。

⑫ REC ボタン

録音待機、録音開始を行います。
また、選択項目を確定します。➜『基本操作』（P.13）

現在の画面	状態	動作
【基本画面】	停止状態	録音待機状態にする
	録音待機状態（REC ボタン点滅）	録音開始
【ファインダー画面】 【メニュー画面】	—	確定





⑬ 電源スイッチ

電源スイッチを長押しして電源のオン／オフを切り替えます。
➜『電源を入れる／電源を切る』(P.14)

ご注意!

再生／録音中、パソコンと USB 接続中、およびディスプレイに「Now Processing!」と表示されている間は、電源をオフにしないでください。

⑭ インプット・レベル・ボタン（＋）（−）

［内蔵マイク ❶］、［マイク入力端子 ⑲］、［ライン入力端子 ⑳］から入力される音声の大きさを調節します。
インプット・レベル・ボタン（＋）を押すと、入力される音量が大きくなります。インプット・レベル・ボタン（−）を押すと、入力される音量が小さくなります。
➜『録音レベルを調節する』(P.37)

⑮ AC アダプター端子

電源端子です。
付属の AC アダプターを接続します。
➜『AC アダプターで使う』(P.14)

⑯ HOLD スイッチ

HOLD スイッチを ON にしておくと、以下を除いてボタン類が効かない状態になり、誤操作の防止に役立ちます。

HOLD スイッチ ON 時に操作可能なボタン類

- ［AUTO GAIN CONTROL スイッチ ㉑］
- ［外部マイク・タイプ切り替えスイッチ ㉒］
- ［LOW CUT スイッチ ㉓］
- ［マイク・ゲイン切り替えスイッチ ㉔］

⑰ ヘッドホン・ボリューム・ボタン（＋）（−）

［ヘッドホン端子 ⑱］にヘッドホンを接続しているときに出力される音量を調節します。

メモ

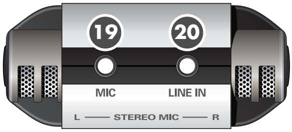
［ヘッドホン端子 ⑱］にデジタル・ケーブルを接続して出力される音（デジタル出力）は、音量調節できません。

⑱ ヘッドホン端子（デジタル出力コネクター兼用）

ヘッドホン端子とデジタル出力コネクターは兼用です。
ヘッドホンで聴くときはヘッドホンを、デジタル出力するときは丸型ミニ・タイプ（オプティカル）のデジタルケーブルを接続します。➜『再生する』(P.42)

用語

オプティカル／ Optical
光ケーブルを接続するデジタル端子です。



⑲ マイク入力端子

外部マイクを接続するときに使用します。➜『外部マイクを使う』(P.33)
音量の調節は［インプット・レベル・ボタン（＋）（－）⑭］で行います。

メモ

外部マイクを接続する場合は、使用するマイクの種類に応じて設定してください。

ダイナミック・マイク 電池内蔵タイプのコンデンサー・マイク	【メニュー画面】で、プラグイン・パワード・マイクを使用しない設定をします（P.86）。
プラグイン・パワードタイプのコンデンサー・マイク	【メニュー画面】で、プラグイン・パワード・マイクを使用する設定をします（P.86）。

ステレオ・タイプ	［外部マイク・タイプ切り替えスイッチ ㉒］でステレオに設定します。
モノラル・タイプ	［外部マイク・タイプ切り替えスイッチ ㉒］でモノラルに設定します。

ご注意!

- ダイナミック・マイクや電池内蔵マイクを接続するときは、必ず【メニュー画面】でプラグイン・パワード・マイクを使用しない設定にしてお使いください。正しくない設定で使用するとマイクが故障するおそれがあります。
- ［ライン入力端子］にケーブルが接続されていると、［マイク入力端子］からの音声は入力されません。

用語

ダイナミック・マイク

耐久性に優れ、ボーカルや楽器の録音に適しています。電源供給の必要がありません。

コンデンサー・マイク

感度が高く、生楽器や会議の声など小さい音の録音に適しています。電池またはプラグイン・パワーから電源の供給が必要です。

⑳ ライン入力端子

オーディオ機器や電子楽器などから出力されるオーディオ信号を R-09 に入力するときにステレオ・ミニ・プラグのケーブルを使って接続します。
➜『カセットや CD の音を録音する』(P.39)

音量の調節は［インプット・レベル・ボタン（＋）（－）⑭］で行います。



㉑ AUTO GAIN CONTROL スイッチ

AUTO GAIN CONTROL のオン／オフを切り替えます。通常は OFF に設定します。

ON	入力される音が小さい場合は大きく増幅し、大きい場合はレベルを抑え、音全体をなるべく均一レベルにして録音します。 会議など遠くの人の声も近くの人の声も同じ音量で録音したい場合は ON に設定します。
OFF	入力される音をそのまま録音します。

ご注意!

LINE 入力には効きません。

㉒ 外部マイク・タイプ切り替えスイッチ

［マイク入力端子 ⑲ ］に接続するマイクの種類によってスイッチを切り替えます。

MONO	モノラル・タイプのマイクを接続します。
STEREO	ステレオ・タイプのマイクを接続します。

㉓ LOW CUT スイッチ

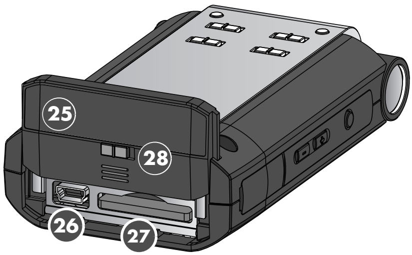
LOW CUT のオン／オフを切り替えます。通常は OFF に設定します。

ON	入力される信号の低音域をカットして録音します。ブレス・ノイズ（声の録音時に息が吹き込む音）が大きいときや野外の録音で風の音が気になる場合は ON に設定します。
OFF	低音域をカットせずに録音します。

㉔ マイク・ゲイン切り替えスイッチ

マイク入力の感度を切り替えます。

LOW	マイク入力感度が低くなります。バンド演奏など大きい音量を入力するときに LOW に設定します。
HIGH	マイク入力感度が高くなります。会議の場など小さい音量を入力するときに HIGH に設定します。



㉕ ボトム・カバー

ボトム･カバーは 2 段階でスライドします。カバーを開くとまず［USB 端子 ㉖ ］と［メモリー・カード･スロット ㉗ ］、さらに［ボトム・カバー・ロック ㉘ ］をスライドさせた状態でカバーを開けると［電池ケース ㉙ ］があらわれます。

➜『メモリー・カードを準備する』（P.17）
➜『電池で使う』（P.15）

ご注意!

カバーを開く際は、必ず『電池で使う』（P.15）の手順にしたがって開けてください。
無理に引っ張ると壊れる恐れがあるのでご注意ください。

㉖ USB 端子

付属の USB ケーブルでパソコンと接続します。R-09 で録音した曲をパソコンに移動したり、またパソコンから R-09 に WAV や MP3 をコピーして再生させたりすることができます。

➜『メモリー・カードを準備する』（P.17）

メモ

USB 2.0（HI-SPEED USB）に対応しているため、高速な曲の転送が可能です。

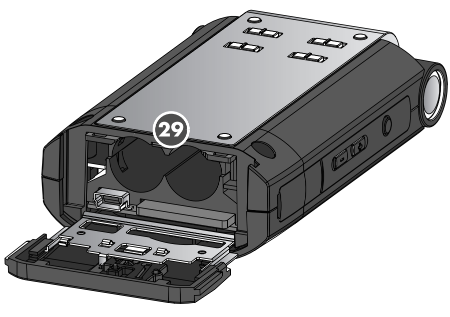
㉗ メモリー・カード・スロット

SD メモリー･カードを差し込むスロットです。

➜『SD メモリー･カードについて』（P.20）

㉘ ボトム・カバー・ロック

ボトム・カバーが誤って開いて電池が飛び出してしまわないようにロックします。



㉙ 電池ケース

電池で動作させるときに電池を入れます。AC アダプターで使用する場合には、電池を入れておく必要はありません。

➜『電池で使う』（P.15）

ご注意!

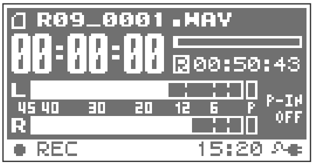
AC アダプターの抜き差しは、必ず R-09 の電源をオフにしてから行ってください。

R-09 の画面と基本操作

R-09 の画面

R-09 の電源をオンにすると【基本画面】が表示されます。
【基本画面】からは、【ファインダー画面】と【メニュー画面】を開くことができます。

【基本画面】

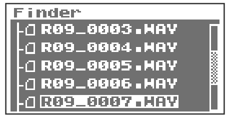


電源投入後に表示される起動画面。
曲の録音、再生を行います。





【ファインダー画面】



曲の一覧表示、名前の変更、消去、コピーなどの操作を行います。

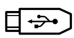


長押し

【メニュー画面】

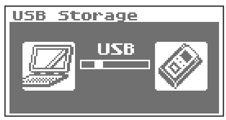


日時、録音の音質、ディスプレイの明るさ、初期化など本体の設定を行います。



USB接続

【USB画面】

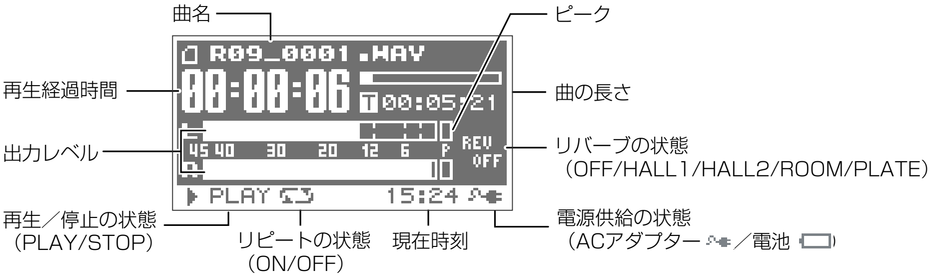


パソコンとUSB 接続すると表示されます。R-09とパソコン間で曲のコピー（移動）を行います。

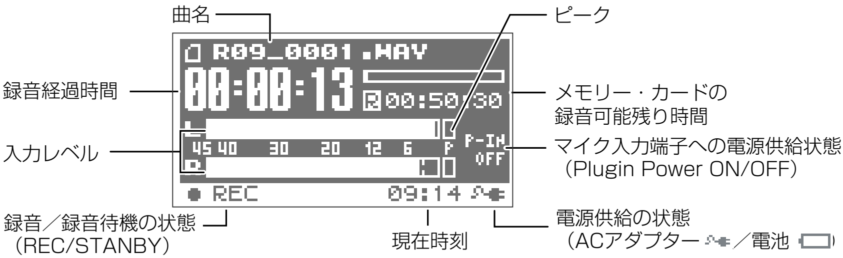
ディスプレイに表示される情報

【基本画面】に表示される主なアイコンや情報について説明します。

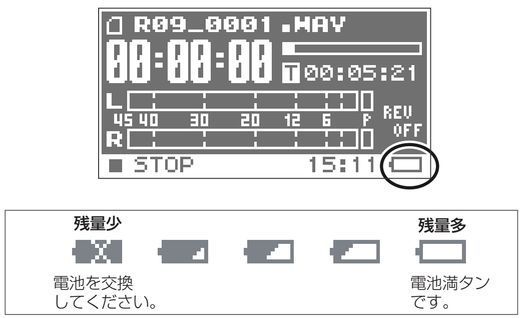
【再生／停止】



【録音】

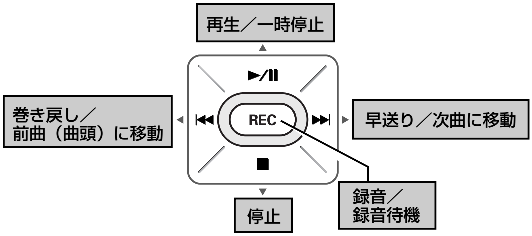


【電池残量表示】

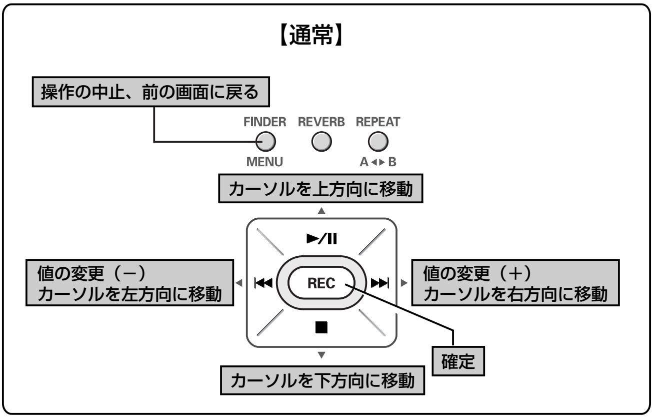


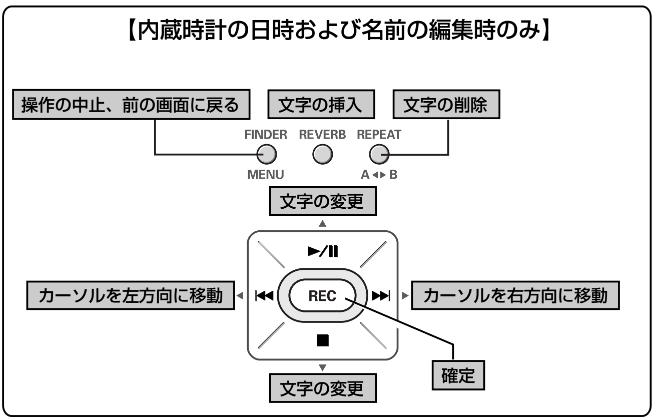
基本操作

録音と再生の操作



選択と確定の操作





R-09 を使ってみよう

電源を入れる／電源を切る

AC アダプターで使う

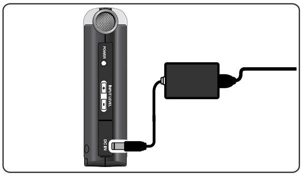
ご注意!

パソコンと接続してお使いになる場合は、必ず AC アダプターでお使いください。
曲をコピーしている最中に電池が消耗してしまったときなど、曲が壊れてしまう恐れがあります。

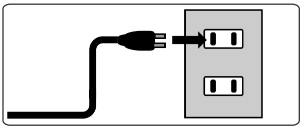
1. 電源がオフになっていることを確認します。

もし電源がオンになっている場合は、ここではオフにします。R-09 の［電源スイッチ］を長押しすると、電源のオン／オフ操作ができます。

2. ACアダプターのDCプラグをR-09の[ACアダプター端子］に差し込みます。

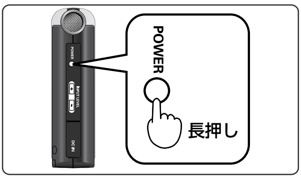


3. AC アダプター本体を電源コンセントに差し込みます。



4. 電源オンにします。

［電源スイッチ］を長押しすると、電源がオンになり、ディスプレイに R-09 の画像が表示されます。
電源をオフにするには、［電源スイッチ］を長押しします。



ご注意!

- AC アダプターは必ず付属のものを使用してください。
- ［HOLD スイッチ］が ON になっていると操作できません。
OFF にして操作してください。（➜P.7）

メモ

電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

電池で使う

ご注意!

パソコンと接続してお使いになる場合は、必ず AC アダプターでお使いください。
曲をコピーしている最中に電池が消耗してしまったときなど、曲が壊れてしまう恐れがあります。

使用できる電池の種類

- 単三アルカリ電池（LR6）
- 単三ニッケル水素電池（HR15/51）

ご注意!

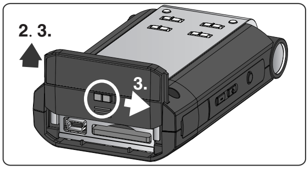
R-09 本体でニッケル水素電池に充電することはできません。別途、市販の充電器を用意してください。

1. 電源がオフになっていることを確認します。

もし電源がオンになっている場合は、ここではオフにします。R-09 の［電源スイッチ］を長押しすると、電源のオン／オフ操作ができます。

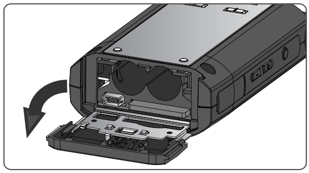
2. 本体裏側にある［ボトム・カバー］を開きます。

1. R-09 を裏返します。
2. ［ボトム・カバー］を上方向に引き上げます。
3. ［ボトム・カバー・ロック］をスライドさせ、その状態のまま、［ボトム・カバー］を引き上げます。



［USB 端子］と［メモリー・スロット］が見えた位置で、いったんひっかかります。ここで［ボトム・カバー・ロック］を右方向にスライドさせ、その状態のまま、さらに［ボトム・カバー］を上方向に引き上げます。
※無理に引っ張ると壊れる恐れがあるのでご注意ください。

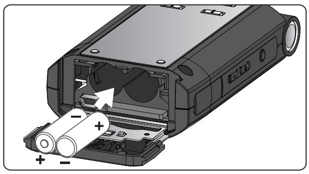
4. ［ボトム・カバー］を手前に倒します。



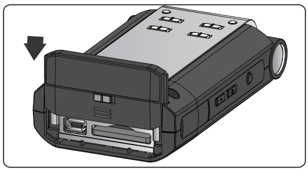
［電池ケース］があらわれます。

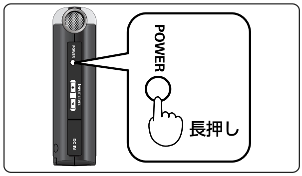
3. 電池をセットします。

＋ / －極を間違えないようにして、単三電池 2 本を［電池ケース］に入れます。



4. ボトム・カバーを閉めます。





5. 電源オンにします。

[電源スイッチ] を長押しすると、電源がオンになります。

6. 電池の種類を設定します。

【メニュー画面】で使用する電池の種類（アルカリ電池またはニッケル水素電池）を選びます。

参照

『使用する電池の種類を設定する（Battery)』（P.84）

R-09 を電池でお使いになるときの注意

- 新しい電池と一度使用した電池や違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池の液漏れ防止などのためにも本体から電池を抜いておくことをおすすめします。
- USB ケーブルを使ってパソコンと接続する場合は、接続中の電池切れを防ぐために、必ず AC アダプターをお使いください。

省電力機能

R-09 は無駄な電力消費を防ぐため、省電力機能がついています。何も操作しない状態が一定時間続くと、省電力機能の設定に応じてディスプレイが暗くなったり、電源が切れたりします。

参照

省電力機能の設定

- 『一定期間操作しないときにディスプレイが暗くなるまでの時間を設定する（Display Timer)』（P.81）
- 『ディスプレイが暗くなったときにインジケーターも消灯する（Rec/Peak LED）』（P.82）
- 『一定時間操作しないときに電源が切れるまでの時間を設定する（Auto Power Off)』（P.83）

電池残量表示

電池容量が少なくなると、ディスプレイの下段右側に電池残量不足のアイコン が表示されます。早めに新しい電池と交換してください。
電池容量が少ないまま使い続けると、「Battery Low」と表示され、最終的に R-09 のすべての機能が停止します。

参照

『メッセージ一覧』（P.90）

電池寿命

アルカリ電池使用時

連続再生時	約5.5 時間
連続録音時	約4 時間

※上記の電池寿命は目安です。使用環境や使いかたによって電池寿命は変わります。

メモリー・カードを準備する

R-09 はメモリー・カードとして SD メモリー・カードを使用します。

セットする

付属の SD メモリー・カードをセットします。

メ モ

付属の SD メモリー・カード以外をお使いになる場合は、ローランド・ホームページ（**http://www.roland.co.jp/cs/**）をご覧ください。最新の動作確認情報をご案内しています。

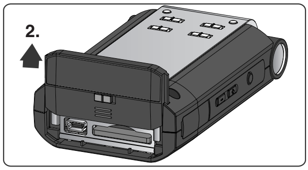
■ 差し込む

1. 電源がオフになっていることを確認します。

もし電源がオンになっている場合は、ここではオフにします。R-09 の［電源スイッチ］を長押しすると、電源のオン／オフ操作ができます。

2. 本体裏側にある［ボトム・カバー］を開きます。

1. R-09 を裏返します。
2. ［ボトム・カバー］を上方向に引き上げます。

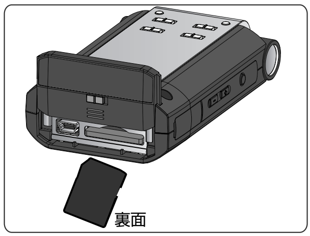


メ モ

［USB 端子］と［メモリー・スロット］が見えた位置で、いったんひっかかります。
※無理に引っ張ると壊れる恐れがありますのでご注意ください。

3. メモリー・カードをセットします。

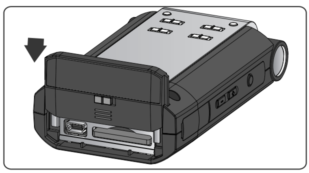
メモリー・カードを差し込みます。



ご注意!

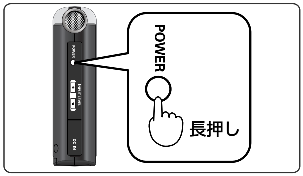
- メモリー・カードを挿入するときは、裏面を上にしてゆっくりと挿入してください。向きが逆の状態で無理に挿入すると、R-09 本体やメモリー・カードを破損するおそれがあります。ご注意ください。
- メモリー・カードは、確実に奥まで挿し込んでください。

4. ［ボトム・カバー］を閉じます。



5. 電源オンにします。

［電源スイッチ］を長押しすると、電源がオンになります。



メモ

はじめて R-09 でメモリー・カードを使う場合、メモリー・カードのフォーマットが必要です。
『フォーマットする』（P.19）の手順にしたがってフォーマットを行ってください。
フォーマットされていないメモリー・カードが R-09 にセットされていると、「SD Unformatted] と表示されます。

■ 取り出す

1. R-09 本体の電源をオフにします。

2. ［ボトム・カバー］を開きます。

3. メモリー・カードを軽く奥に押し、指を離します。

メモリー・カードが手前に出てきたら取り出します。

ご注意!

本体の電源を入れたまま、メモリー・カードの抜き差しをしないでください。メモリー・カード内のデータが失われる可能性があります。

フォーマットする

はじめて R-09 でメモリー・カードを使う場合、メモリー・カードのフォーマットが必要です。

ご注意！

メモリー・カードのフォーマットは、必ず R-09 本体で行ってください。R-09 以外の機器でフォーマットしたメモリー・カードは R-09では正しく動作しないことがあります。

用 語

フォーマット

定められた情報の記憶形式に従って、メモリー・カードを初期化することをいいます。
録音に使用したメモリー・カードをフォーマットすると、録音した曲はすべて消去されます。

1. メモリー・カードがセットされていることを確認します。

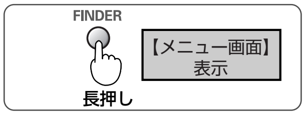
R-09の［メモリー・カード・スロット］に、フォーマットしたいメモリー・カードが差し込まれていることを確認します。

参 照

『セットする』（P.17）

2. 【メニュー画面】を表示させます。

［FINDER/MENU ボタン］を長押しして【メニュー画面】を表示させます。



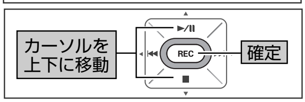
メ モ

途中で操作を中止したい場合には、［FINDER/MENU ボタン］を押してください。ひとつ前の画面に戻ります。

3. 「SD Card」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「SD Card」を選び、［REC ボタン］を押します。





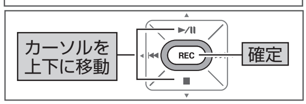
メ モ

途中で操作を中止したい場合には、［FINDER/MENU ボタン］を押してください。ひとつ前の画面に戻ります。

4. 「Format」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Format」を選び、［REC ボタン］を押します。





メ モ

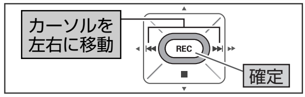
中止するときは、［FINDER/MENU ボタン］を押してください。ひとつ前の画面に戻ります。

5. 「Yes」を選びます。

確認の画面が表示されます。

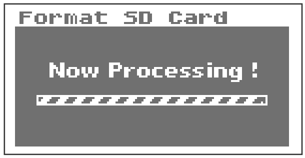
［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］で「Yes」を選び、［REC ボタン］を押します。





ご注意!

フォーマット中にメモリー·カードを絶対に取り出さないでください。メモリー・カード内の記憶エリアが破損することがあります。

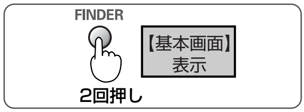


「Completed!」と表示されたらフォーマット完了です。



6. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を 2 回押して【基本画面】に戻します。



SD メモリー・カードについて

付属のメモリー・カード以外をお使いになる場合は、ローランド・ホームページ（http://www.roland.co.jp/cs/）をご覧ください。最新の動作確認情報をご案内しています。

ご注意!

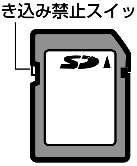
- R-09 は 64MB ～4GB の SD メモリー・カードに対応しています。
- メモリー· カードのメーカーや種類によっては,R-09 で正しく録音や再生ができないものがあります。
- 本体の電源を入れたまま、メモリー・カードの抜き差しをしないでください。メモリー・カード内のデータが失われる可能性があります。
- メモリー· カードは挿入方向や表裏に注意し、確実に奥まで差し込んでください。また無理な挿入はしないでください。

メ モ

メモリー・カードの書き込み禁止（LOCK）機能について

メモリー · カードの側面にある書き込み禁止スイッチを「LOCK」方向にスライドさせると書き込みできなくなり、メモリー・カード内のデータを保護することができます。データを削除したい場合は書き込み禁止を解除してお使いください。

書き込み禁止スイッチ

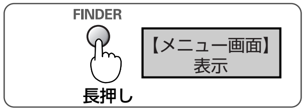


日付けと時刻を設定する

電源を入れたときは、以下の手順で内蔵時計の設定をしてください。
ここで設定した日時は、録音した曲の情報（タイム・スタンプ）として利用されます。

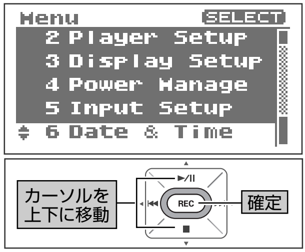
1. 【メニュー画面】を表示させます。

[FINDER/MENU ボタン] を長押しして【メニュー画面】を表示させます。



2. 「Date & Time」を選びます。

[PLAY ボタン ▲] [STOP ボタン ▼] で「Date & Time」を選び、[REC ボタン] を押します。



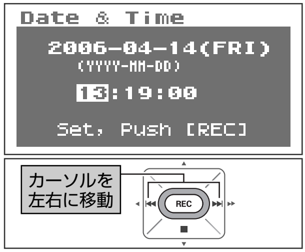
ご注意!

電源オン時、内蔵時計は AC アダプターまたは電池から電力を供給されて動作します。電源オフ時には本体に貯えられた電力を使って一時的に動作しますが、電源オフ状態が数日間続くと内蔵時計の設定は元に戻ってしまいます (初期状態)。この初期状態で電源を ON にすると「Clock Initialized」のメッセージが表示されます。
「Clock Initialized」が表示されたら、再度日付けと時刻を設定してください。

3. 日付けと時刻を編集します。

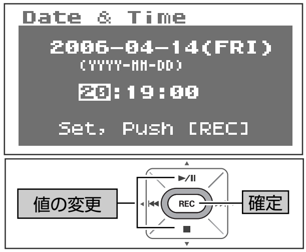
1. カーソルを移動します。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］でカーソルを左右に動かします。



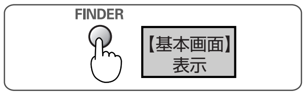
2. 日時を編集します。

カーソルが変更したい文字の位置にきたら、［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で日付けと時刻を変更し、［REC ボタン］を押して確定します。



4. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を押します。



録音する

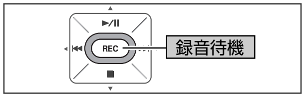
［内蔵マイク］で音声を録音してみましょう。

ご注意!

［内蔵マイク］を使用するときは、［マイク入力端子］と［ライン入力端子］には何も接続しないでください。［マイク入力端子］または［ライン入力端子］にマイクやケーブルが接続されていると、［マイク入力端子］と［ライン入力端子］からの入力が優先され、［内蔵マイク］は無効になります。

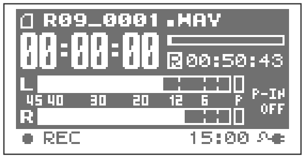
1. 入力レベルを調整します。

1. 録音待機状態にします。



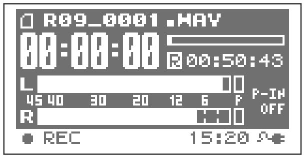
【基本画面】で［REC ボタン］を押して、［REC インジケーター］を点滅させます。
録音待機状態になります。

2. マイクに向かって実際に録音する音を鳴らしてみます。



R-09 に入力される音の大きさに応じてレベル・メーターが振れます。

3. 音を出しながら［インプット・レベルボタン（＋）（－）］を押し、ボリュームを少しずつ調整していきます。

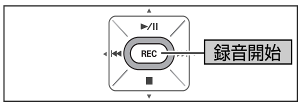


［PEAK インジケーター］が点灯しない範囲内で、レベル.メーターができるだけ右側に大きく振れるように調整します。
［PEAK インジケーター］が点灯しっぱなしになると、入力レベルが大きすぎて歪んだ音で録音されてしまいます。

参照

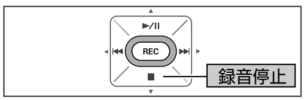
入力レベル調整について、詳しくは『録音レベルを調節する』（P.37）をご覧ください。

2. ［REC ボタン］を押し、録音を開始します。



［REC インジケーター］が点灯します。

3. ［STOP ボタン ■ ］を押し、録音を停止します。



［REC インジケーター］が消灯し、録音した曲がディスプレイに表示されます。

ご注意!

録音中は電源をオフにできません。

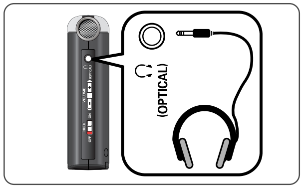
参照

録音設定について詳しくは『録音の設定をする』（P.26）をご覧ください。

再生する

録音した音声を聴いてみましょう。

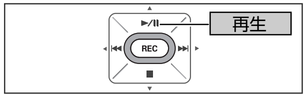
1. 再生機器を接続します。



メモ

R-09は、本体にはスピーカーを装備していません。再生した音を聴くためには､ヘッドホンやスピーカーなどの再生機器が別途必要です。

2. [PLAY ボタン ►/II] を押して、再生します。



［PLAY ボタン］を押すと、ディスプレイに表示されている曲の再生が始まります。

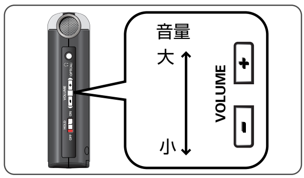
メモ

ディスプレイに「No Song」と表示されている場合は、R-09 で再生できる曲がないことを意味します。

参照

『曲やフォルダを扱う』（P.62）

3. 音量を調整します。



［ヘッドホン・ボリューム・ボタン（＋）（－）］で、ちょうど良い音の大きさになるように調整します。

メモ

［ヘッドホン端子］にデジタル・ケーブルを接続して出力される音（デジタル出力）は、音量調節できません。

巻き戻し／早送り

再生中に［RWD ボタン ⏮ ］を長押しすると巻き戻しに、［FWD ボタン ⏭ ］を長押しすると早送りの状態になります。それぞれのボタンから手を離すと再び再生が始まります。

参照

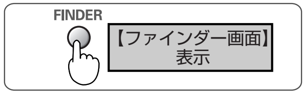
再生方法について詳しくは『再生する』（P.42）をご覧ください。

削除する

録音した音声を削除します。

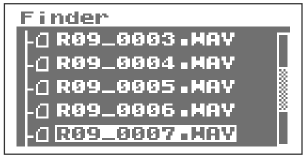
1. 【ファインダー画面】を表示させます。

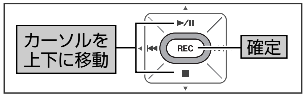
［FINDER/MENU ボタン］を押して【ファインダー画面】を表示させます。



2. 曲を選びます。

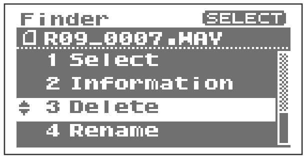
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で削除する曲を選び、［REC ボタン］を押します。

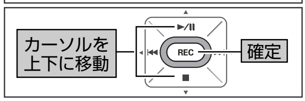




3. 「Delete」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Delete」を選び、［REC ボタン］を押します。

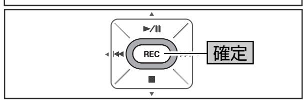




4. ［REC ボタン］を押して確定します。

確認の画面が表示されます。［REC ボタン］を押して確定します。



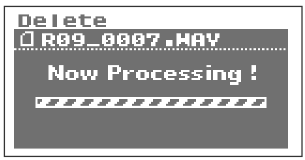


メモ

中止（キャンセル）する場合は［REC ボタン］を押す前に［FINDER/MENU ボタン］を押してください。

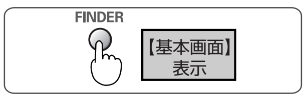
ご注意!

削除中に電源を切らないでください。



5. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を押します。



録音する

録音の設定をする

録音時の音質を設定することができます。
音質をよくすると、曲のサイズは大きくなり録音できる時間は短くなります。

演奏を録音するような「本番」のレコーディングでは、音質を優先させて WAV 16bit または 24bit にするとよいでしょう。

メモ

オーディオ CD を作成する場合は、サンプリング周波数を44.1kHz、録音モードをWAV 16bit に設定します。

テスト録音や会議の記録などは、それほど高い音質が求められるものではありません。長時間録音すること、曲サイズを小さくすることを優先させて、MP3 128kbps、44.1kHz にするとよいでしょう。

音質を優先するか録音時間を優先するかなど、目的に合った設定をしてください。

サンプリング周波数

（初期値：太字）

サンプリング周波数の値	**44.1kHz**
	48kHz

値が大きいほど高音質になります。
音をデジタル録音する場合、一定時間ごとに音のレベルを測って、そのレベルをデジタル信号化します。サンプリング周波数とは、その時間間隔を決める値のことで単位は kHz で表します。高音を正確に再現したい場合は、高いサンプリング周波数が必要です。

メモ

- サンプリング周波数の値が大きくなると曲のサイズが大きくなり、録音可能な時間が短くなります。
- ビデオ作品の編集で、オーディオ・トラックに録音したものを取り込む場合には 48kHz に設定することをおすすめします。
- 録音した曲のサンプリング周波数を R-09 で変換することはできません。

録音モード

録音モード	MP3 64kbps
	MP3 96kbps
	MP3 128kbps
	MP3 160kbps
	MP3 192kbps
	MP3 224kbps
	MP3 320kbps
	WAV 16bit
	WAV 24bit

■ WAV と MP3

WAV の曲 (*.WAV) は取り込んだ音の情報をすべて非圧縮で記録し、MP3 の曲 (*.MP3) は圧縮して記録します。このため、WAV の曲は MP3 の曲よりも高音質で録音することができます。一方 MP3 は人間の耳に聞こえにくい周波数の音を取り除くことで情報量を減らして録音します。

メモ

MP3 の設定で録音すると、WAV の設定で録音したときよりも曲のサイズが小さくなり、長時間の録音が可能になります。

■ bps と bit

値が大きいほど高音質になります。

MP3 の bps とはビットレートの単位です（bit per second)。
ビットレートとはデータの速度を示すもので、1 秒間に送るビットの数を表します。

WAV の bit とはサンプルサイズの単位です。
サンプルサイズとは音の強弱の精度を示すものです。サンプリングサイズの値が大きくなるとより細かい音の強弱が表現でき、滑らかで自然な音になります。

メモ

- bps と bit の値が大きくなると曲のサイズが大きくなり、録音可能な時間が短くなります。
- Windows Media Player などソフトウェアによっては 24bit の WAV は再生できません。

録音時間の目安

メモリー・カードに録音できる時間の目安は以下のとおりです。

録音可能時間（目安）　単位：分

設定	メモリー・カードのサイズ					
	64MB	128MB	512MB	1GB	2GB	4GB
WAV（16 ビット／ 44.1kHz）	5	11	44	88	180	360
WAV（16 ビット／ 48kHz）	5	10	40	81	166	330
WAV（24 ビット／ 44.1kHz）	3	7	29	59	120	240
WAV（24 ビット／ 48kHz）	3	7	27	54	110	220
MP3 128kbps	62	126	490	980	1,993	3,800
MP3 224kbps	35	70	280	560	1,139	2,700
MP3 320kbps	25	50	196	392	797	1,590

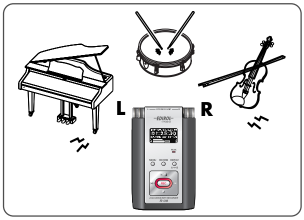
ご注意！

上記の録音時間は目安です。カードの仕様等により変わることがあります。
また、録音されたファイルが複数ある場合、合計の録音時間はこれより小さくなります。

楽器や声を録音する

内蔵マイクを使う

内蔵マイクはステレオ・タイプのマイクです。
R-09 本体の右側のマイクが右チャンネル（R)、左側が左チャンネル（L）として録音されます。



ご注意!

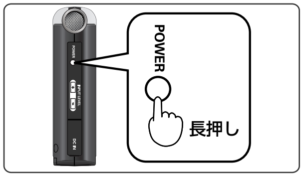
- マイク録音を行う際には、ハウリング（キーンという音）を避けるためスピーカーを使用しないでください。
- ［マイク入力端子］や［ライン入力端子］にマイクや機器を接続している場合は、［内蔵マイク］は使用できません。［内蔵マイク］を使用する場合には、［マイク端子］や［ライン入力端子］に何も接続しないでください。

メモ

録音する音声を聴きながら（モニターしながら）録音する場合は、録音時にモニターする設定にしてください。
➜『録音時に音声をモニターするかしないかを設定する』（P.85）

1. R-09 の電源をオンにします。

『電源を入れる／電源を切る』(P.14) の手順で、R-09の電源をオンにします。



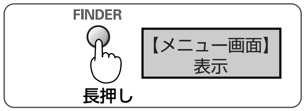
2. サンプリング周波数を設定します。

参照

『録音の設定をする』(P.26)

1. 【メニュー画面】を表示させます。

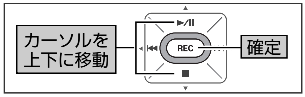
［FINDER/MENU ボタン］を長押しして【メニュー画面】を表示させます。



2. 「Recorder Setup」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Recorder Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。

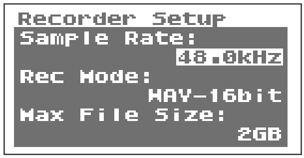


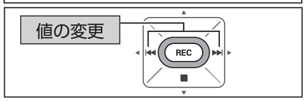


3. サンプリング周波数（Sample Rate）を選びます。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Sample Rate の値を変更します。

サンプリング周波数の値	44.1kHz
	48kHz





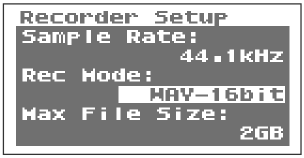
3. 録音モードを設定します。

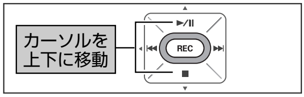
参照

『録音の設定をする』（P.26）

1.「Rec Mode」を選びます。

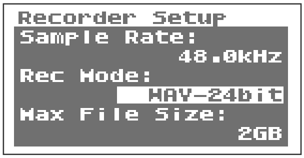
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で Rec Mode の行にカーソルを合わせます。

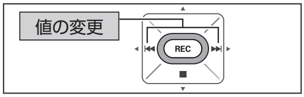




2. 録音モードを選びます。

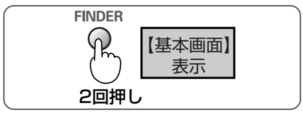
［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Rec Mode の値を変更します。





録音モード	MP3 64kbps
	MP3 96kbps
	MP3 128kbps
	MP3 160kbps
	MP3 192kbps
	MP3 224kbps
	MP3 320kbps
	WAV 16bit
	WAV 24bit

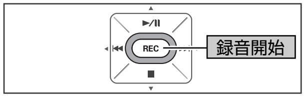
4. [FINDER/MENU ボタン] を 2 回押して【基本画面】に戻します。



5. 入力レベルを調整します。

録音する音の大きさを調整します。
『録音レベルを調節する』（P.37）の手順にしたがってレベルを調整してください。

6. [REC ボタン] を押し、録音を始めます。



録音待機状態（[REC インジケーター] が点滅）で［REC ボタン］を押します。
[REC インジケーター] が点灯し、録音が始まります。

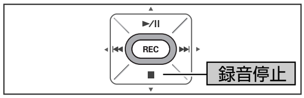
メモ

- ［PLAY/PAUSE ボタン］を押しても、録音を開始することができます。
- 録音を始めてから［HOLD スイッチ］を ON にしておくと、ボタンが誤って押されても録音が止まったり録音レベルが変わったりしません。

ご注意!

- ［マイク入力端子］や［ライン入力端子］にマイクや機器を接続している場合は、[内蔵マイク] は使用できません。[内蔵マイク] を使用する場合には、［マイク端子］や［ライン入力端子］に何も接続しないでください。
- 録音待機状態や録音中に［インプット・レベル・ボタン］を操作すると、入力レベルが変わってしまいます。[インプット・レベル・ボタン］を誤って操作してしまわないよう気をつけてください。
- 録音中は電源をオフにすることができません。一度録音を停止してから電源をオフにしてください。

7. [STOP ボタン ■] を押し、録音を停止します。

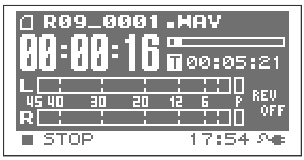


[REC インジケーター] が消灯します。

メモ

一時停止する場合は、[PLAY/PAUSE ボタン] を押します。
一時停止を解除して録音を再開するときは、再度 [PLAY/PAUSE ボタン] を押してください。

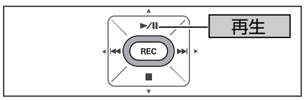
ディスプレイには、録音した曲が表示されます。



メモ

曲名は、R09_0001.WAV のように自動的に作成されます。0001 の部分は存在する曲名の中で、最も大きい番号の次の番号がつけられます。

8. 再生します。



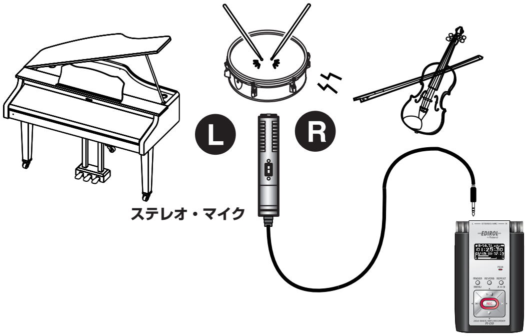
今、録音した曲を聴くときには、[PLAY/PAUSE ボタン ►/II] を押します。

参照

『曲を再生する』（P.43）

外部マイクを使う

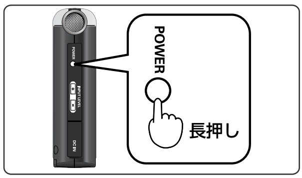
R-09 は、ダイナミック・マイクや、パソコンのマイク端子などに接続するタイプのコンデンサー・マイクを使用することができます。



ご注意!

- ［ライン入力端子］に機器やケーブルが接続されていると［マイク入力端子］からの入力は無視されてしまいます。［ライン入力端子］には何も接続していない状態でお使いください。
- マイク録音を行う際には、ハウリングを避けるためスピーカーを使用しないでください。

1. R-09 の電源をオンにします。



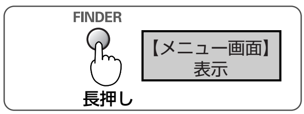
『電源を入れる／電源を切る』(P.14）を参考にして、R-09 の電源をオンにします。

2. サンプリング周波数を設定します。

参照

『録音の設定をする』(P.26)

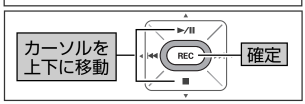
1.【メニュー画面】を表示させます。



［FINDER/MENU ボタン］を長押しして【メニュー画面】を表示させます。

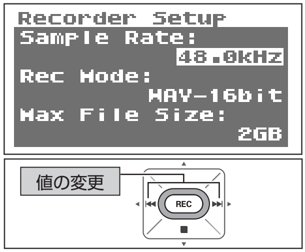
2.「Recorder Setup」を選びます。





［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Recorder Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。

3. サンプリング周波数（Sample Rate）を選びます。



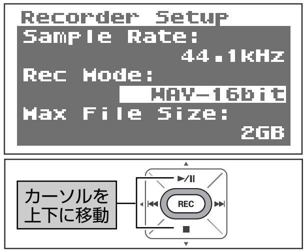
［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Sample Rate の値を変更します。

サンプリング周波数の値	44.1kHz
	48kHz

3. 録音モードを設定します。

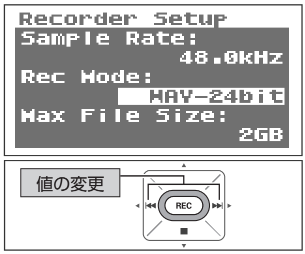
参 照
『録音の設定をする』（P.26）

1.「Rec Mode」を選びます。



［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で Rec Mode の行にカーソルを合わせます。

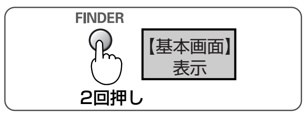
2. 録音モードを選びます。



［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Rec Mode の値を変更します。

録音モード	MP3 64kbps
	MP3 96kbps
	MP3 128kbps
	MP3 160kbps
	MP3 192kbps
	MP3 224kbps
	MP3 320kbps
	WAV 16bit
	WAV 24bit

4. ［FINDER/MENU ボタン］を 2 回押して【基本画面】に戻します。



5. 使用するマイクに合わせて設定を行います。

ダイナミック・マイク	【メニュー画面】で、プラグイン・パワード・マイクを使用しない設定をします（P.86）。
電池内蔵タイプのコンデンサー・マイク	
プラグイン・パワードタイプのコンデンサー・マイク	【メニュー画面】で、プラグイン・パワード・マイクを使用する設定をします（P.86）。

［外部マイク・タイプ切り替えスイッチ］を［マイク入力端子］に接続するマイクに合わせて切り替えます。

ご注意!

- ダイナミック・マイクや電池内蔵マイクを接続するときは、必ず【メニュー画面】でプラグイン・パワード・マイクを使用しない設定にしてお使いください。正しくない設定で使用すると故障するおそれがあります。
- ［ライン入力端子］にケーブルが接続されていると、［マイク入力端子］からの音声は入力されません。

用語

ダイナミック・マイク

耐久性に優れ、ボーカルや楽器の録音に適しています。電源供給の必要がありません。

コンデンサー・マイク

感度が高く、生楽器や会議の声など小さい音の録音に適しています。電池またはプラグイン・パワーから電源の供給が必要です。

ステレオ・タイプ	［外部マイク切り替えスイッチ］でステレオに設定します（P.9）。
モノラル・タイプ	［外部マイク切り替えスイッチ］でモノラルに設定します（P.9）。

メモ

モノラル・マイク使用時に、外部マイク・タイプ切り替えスイッチ（P.9）をステレオ・タイプに設定して録音すると、L チャンネルしか録音されません。モノラル・タイプに設定すると、L と R チャンネルに同じ音（ステレオ）が録音されます。

6. マイクを接続します。

R-09の［マイク入力端子］にマイクを接続します。

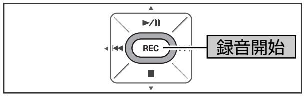
ご注意!

録音する音声を聴きながら（モニターしながら）録音する場合は、ヘッドホンを［ヘッドホン端子］に接続してモニターしてください。外部スピーカーなどを接続するとハウリング音が出ますのでスピーカーなどを使用しないようご注意ください。

7. 入力レベルを調整します。

録音する音の大きさを調整します。
『録音レベルを調節する』（P.37）の手順にしたがってレベルを調整してください。

8. [REC ボタン] を押します。



録音待機状態（[REC インジケーター] が点滅）で [REC ボタン] を押します。[REC インジケーター] が点灯し、録音が始まります。

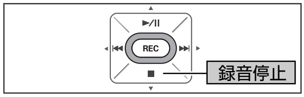
メ モ

- [PLAY/PAUSE ボタン] を押しても、録音を開始することができます。
- 録音を始めてから [HOLD スイッチ] を ON にしておくと、ボタンが誤って押されても録音が止まったり録音レベルが変わったりしません。

ご注意!

- 録音中に [インプット・レベル・ボタン] を操作すると、入力レベルが変わってしまいます。[インプット・レベル・ボタン] を誤って操作してしまわないよう気をつけてください。
- 録音中は電源をオフにすることができません。一度録音を停止してから電源をオフにしてください。

9. [STOP ボタン ■] を押し、録音を停止します。

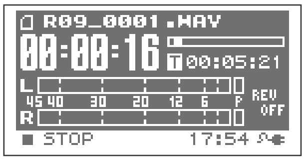


[REC インジケーター] が消灯します。

メ モ

一時停止する場合は、[PLAY/PAUSE ボタン] を押します。
一時停止を解除して録音を再開するときは、再度 [PLAY/PAUSE ボタン] を押してください。

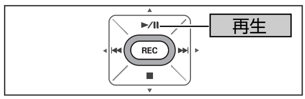
ディスプレイには、録音した曲が表示されます。



メ モ

曲名は、R09_0001.WAV のように自動的に作成されます。0001 の部分は存在する曲名の中で、最も大きい番号の次の番号がつけられます。

10. 再生します。



今、録音した曲を聴くときには、[PLAY/PAUSE ボタン ►/II] を押します。

参 照

『曲を再生する』（P.43）

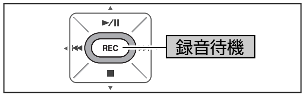
録音レベルを調節する

R-09 は、幅広い音を収録するように設計されていますが、録音対象に応じて最適な録音レベル（音量）設定を行なうことで、より高音質で録音することができます。
レベル設定の基本は、歪まない範囲でできる限り大きなレベル（音量）で入力することです。これは［内蔵マイク］、外部マイクのいずれを使用する場合でも同じです。

1. 録りたい音にマイクを向けます。

録音したい対象に R-09 のマイクを向けます。

2. 録音待機状態にします。

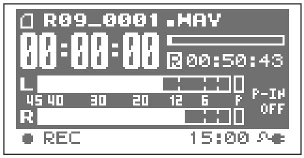


【基本画面】で［REC ボタン］を押して［REC インジケーター］を点滅させます。録音待機状態になります。

メモ

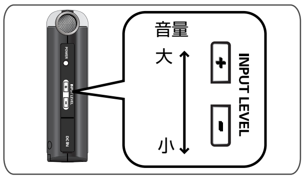
この状態ではまだ録音は始まっていません。

3. マイクに向かって実際に録音する音を鳴らしてみます。



R-09 に入力される音の大きさに応じてレベル・メーターが振れます。

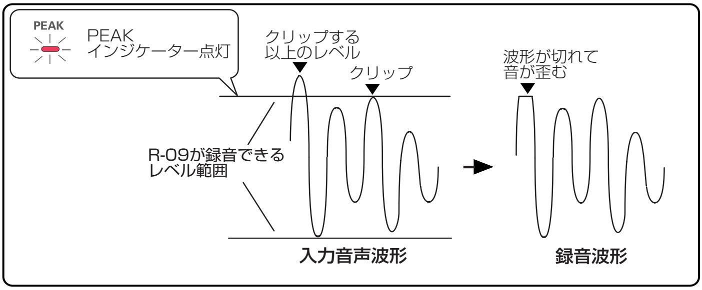
4. 音量を調整します。



音を鳴らしながら、［インプット・レベル・ボタン］を押し、インプット・ボリュームを少しずつ調整します。

メモ

レベル・メーターが右に行くほど大きな音を集音していることを表わします。できるだけ大きく集音するように［インプット・レベル・ボタン］を押して調整してください。
ただし［PEAK インジケーター］が点灯してしまうと、入力音量が大き過ぎの状態です。
［PEAK インジケーター］が点灯している状態というのは、R-09 が記録できる最大の入力音量に達している状態（クリップしている状態）で、さらに大きな音が入ってきても本来の音量で録音されません。このようなとき録音された音はバリバリと歪んだ状態になっています。



録音しようとしている対象が出すもっとも大きな音が入ったときでも［PEAK インジケーター］が点灯しない（クリップしない）ように［インプット・レベル・ボタン］を調整します。歌であれば一番盛り上がるところ、楽器であればフォルテシモの音が出るときにクリップしないようにしておきます。

レベルの設定が終わってから、もう一度［REC ボタン］を押すと録音が始まります。

メモ

- 録音を中止する場合、［STOP ボタン ■ ］を押すと【基本画面】に戻ります。このときレベル設定は維持されているので、もう一度［REC ボタン］を押せば、同じ入力レベルで録音を始めることができます。
- ［インプット・レベル・ボタン］操作時に、入力レベルが切り替わるタイミングで小さなノイズが聞こえることがありますが、故障ではありません。

カセットやCDの音を録音する

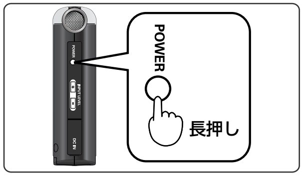
R-09はマイクを使った楽器演奏の録音やボイス・メモとして使う以外に、[ライン入力端子]を使ってカセットやCDの音を録音することもできます。

ご注意!

[ライン入力端子]に機器やケーブルを接続すると、マイク入力は無効になります。そのため、マイク入力とライン入力の音声をミックスして録音することはできません。[ライン入力端子]と[マイク入力端子]から音声を入力した場合には、ライン入力の音声のみが録音されます。

ここでは、例としてCDプレーヤーからの音をR-09で録音してみます。

1. R-09の電源をオンにします。



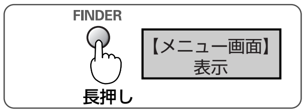
『電源を入れる/電源を切る』(P.14)を参考にして、R-09の電源をオンにします。

2. サンプリング周波数を設定します。

参照

『録音の設定をする』(P.26)

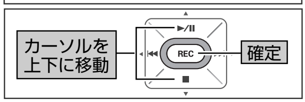
1.【メニュー画面】を表示させます。



[FINDER/MENUボタン]を長押しして【メニュー画面】を表示させます。

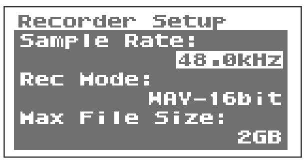
2.「Recorder Setup」を選びます。

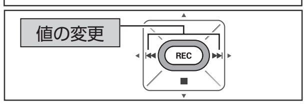




[PLAYボタン▲][STOPボタン▼]で「Recorder Setup」を選び、[RECボタン]を押します。

3. サンプリング周波数(Sample Rate)を選びます。





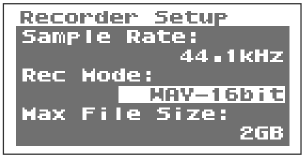
[RWDボタン◀][FWDボタン▶]でSample Rateの値を変更します。

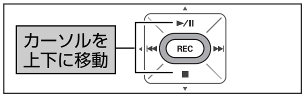
3. 録音モードを設定します。

参 照

『録音の設定をする』（P.26）

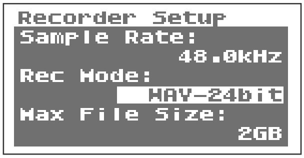
1. 「Rec Mode」を選びます。

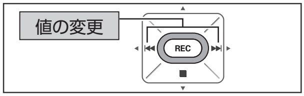




［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で Rec Mode の行にカーソルを合わせます。

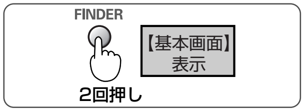
2. 録音モードを選びます。





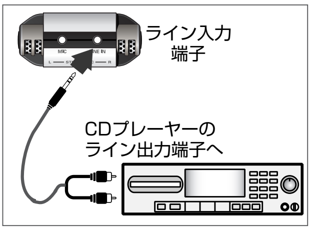
［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Rec Mode の値を変更します。

3. ［FINDER/MENU ボタン］を 2 回押して【基本画面】に戻します。



4. CD プレーヤーを接続します。

CD プレーヤーのライン出力端子と R-09 の［ライン入力端子］をオーディオ・ケーブルで接続します。



5. 入力レベルを調整します。

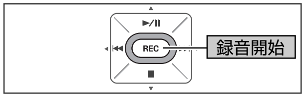
CD プレーヤーで録音したい曲を再生しながら、入力レベルを調整します。

入力レベルを調整したら、録音したい曲を頭出ししておきましょう。

参 照

『録音レベルを調節する』（P.37）

6. [REC ボタン] を押し、録音を開始します。



録音待機状態（[REC インジケーター] 点滅状態）で [REC ボタン] を押します。[REC インジケーター] が点灯し、録音が始まります。

メ モ

[PLAY/PAUSE ボタン] を押しても、録音を開始することができます。

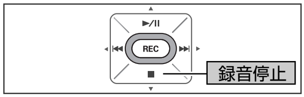
ご注意!

録音中に [インプット・レベル・ボタン] を操作すると、入力レベルが変わってしまいます。[インプット・レベル・ボタン] を誤って操作してしまわないよう気をつけてください。

7. CD プレーヤーの再生ボタンを押します。

CDプレーヤーで再生している曲がR-09に録音されます。録音したい曲の再生が終了するまで待ちます。

8. [STOP ボタン ■] を押し、録音を停止します。

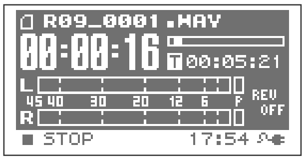


[REC インジケーター] が消灯します。

メ モ

一時停止する場合は、[PLAY/PAUSE ボタン ►/II] を押します。一時停止を解除して録音を再開するときは、再度 [PLAY/PAUSE ボタン ►/II] を押してください。

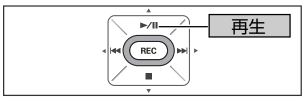
ディスプレイには、録音した曲が表示されます。



メ モ

曲名は、R09_0001.WAV のように自動的に作成されます。0001 の部分は存在する曲名の中で、最も大きい番号の次の番号がつけられます。

9. R-09 を再生します。



今、録音した曲を聴くときには、[PLAY/PAUSE ボタン ►/II] を押します。

参 照

『曲を再生する』（P.43）

再生する

基本的な接続

R-09 本体にはスピーカーが装備されていません。再生音を聴くためには、ヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーを別途ご用意ください。



スピーカーを接続する場合

必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損したりする恐れがあります。

1. **R-09 の電源を切ります。**
2. **接続するスピーカーのボリュームを最小にして電源を切っておきます。**
3. **スピーカーを接続します。**

   アンプを内蔵しているスピーカーのみ接続できます。
   デジタル・スピーカーを使用するときは、R-09 の［PHONES（OPTICAL)］とスピーカーのデジタル入力端子をデジタル・ケーブルで接続します。
   アナログ・スピーカーを使用するときは、R-09 の［PHONES（OPTICAL)］とスピーカーのライン入力端子をオーディオ・ケーブルで接続します。
4. **R-09 の電源をオンにします。**
5. **スピーカーの電源を入れて、ボリュームを少しずつ大きくして音量を調節します。**

ご注意!

R-09 本体で［デジタル出力コネクター］からの音声の音量調節はできません。

曲を再生する

[RWD ボタン ⏮] [FWD ⏭ ボタン] で再生したい曲を選んで、[PLAY ボタン ▶/II] を押すと再生が始まります。

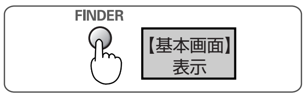
参照

『再生可能な曲の種類』(P.55)



1. 【基本画面】を表示させます。

【基本画面】になっていない場合は、[FINDER/MENU ボタン] を何回か押して【基本画面】を表示させます。

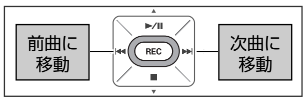


メモ

表示されている画面に応じて、[FINDER/MENU ボタン] を押す回数が異なります。

2. [RWD ボタン ⏮] [FWD ボタン ⏭] で再生したい曲を選びます。

[RWD ボタン] を押すとひとつ前の曲に移動します。
[FWD ボタン] を押すと次の曲に移動します。



メモ

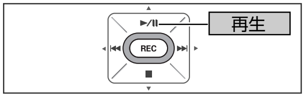
ディスプレイに「No Song」と表示されている場合は、現在のフォルダ内にR-09で再生できる曲がないことを意味します。
「No Card」と表示されている場合は、メモリー・カードがセットされていないことを意味します。

参照

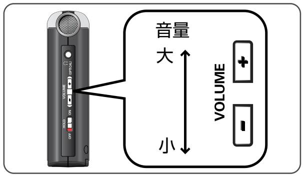
『曲やフォルダを扱う』(P.62)

3. 再生します。

［PLAY ボタン ►/II ］を押すと、ディスプレイに表示されている曲の再生が始まります。



4. ［ヘッドホン・ボリューム・ボタン（＋）（－）］で、ちょうど良い音の大きさになるように調整します。



メモ

［ヘッドホン端子］にデジタル・ケーブルを接続して出力される音（デジタル出力）は、音量調節できません。

メモ

- **曲順について**
  曲順は、以下の文字列の規則に従って順番に表示されます。録音した順番ではありません。
  （スペース）! # $ % & ' ( ) + , - . 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; = @
  A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
  a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z { }
- 「.」で始まる曲名は、無視され、表示されません。
- 曲名またはフォルダ名に日本語（2 バイトの文字）が使われている場合、R-09 のディスプレイには「_MBC000.wav」、「_MBC001.mp3」というような _MBC の後に番号がついた名前で表示されます。
- 曲の拡張子が .WAV か .MP3 以外の曲は、無視され、表示されません。
- ディスプレイに表示されている曲名は、MP3 の ID3 タグには対応していません。

参照

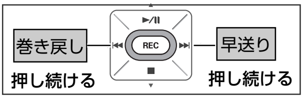
R-09 で再生できる曲については、『再生可能な曲の種類』（P.55）を参照してください。

早送り、巻き戻し

曲の再生中に［RWD ボタン ⏮］を押すと、押している間巻き戻し、［FWD ボタン ⏭］を押すと、押している間早送りをします。それぞれのボタンから手を離すと再び再生が始まります。

メモ

ボタンを押し続けると、早送りや巻き戻しのスピードが加速します。



再生中の巻き戻しや早送りについて

ご注意!

16bit ／ 24bit WAV の曲を再生中に、巻き戻しや早送りの操作を行なうと、メモリー・カードの種類によっては、データの読み込み速度が間に合わず、巻き戻しや早送りの動作が停止してしまうことがあります。
このようなときは、いったん［STOP ボタン ■］を押して再生を終了してください。その後、もう一度再生を行ってください。

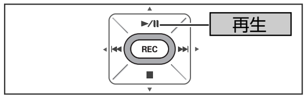
設定したある区間を繰り返し再生する

1 曲の中で指定した一定区間を繰り返し再生します。
気になるところを何度でも繰り返し再生してチェックすることができます。



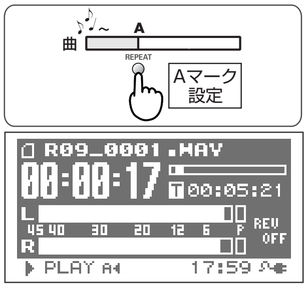
1. 再生します。

［PLAY ボタン ▶/II ］を押すと、ディスプレイに表示されている曲の再生が始まります。



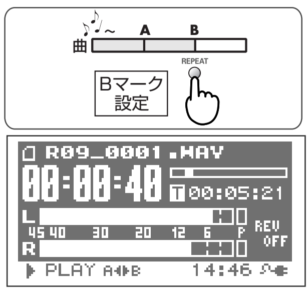
2. 開始地点（A マーク）を設定します。

再生中に［REPEAT ボタン］を押して一度押します。
その時点がリピート再生の開始地点（A マーク）となります。

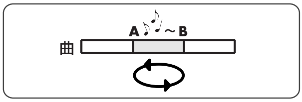


3. 終了地点（B マーク）を設定します。

再度［REPEAT ボタン］を押します。
その時点がリピート再生の終了地点（B マーク）となります。



手順 1、2 で設定した区間（A-B）を繰り返し再生します。
リピート再生を解除するときには、再度［REPEAT ボタン］を押します。



設定の際のご注意

- A マークを設定した後、B マークを設定しないで曲が最後まで再生されてしまったときには、A マークと曲の終わりまでの間を繰り返し再生します。
- ［RWD ボタン ⏮］［FWD ボタン ⏭］で曲を移動すると、リピートの設定は解除されます。

■ 設定の解除方法

- A マーク、B マークが設定されている状態で［REPEAT ボタン］を押すと、A マーク、B マークの設定が解除されます。
- 再生も停止する場合には、［STOP ボタン ■］を押してください。リピート再生の設定（A マーク、B マーク）は記憶されたまま再生が停止します。

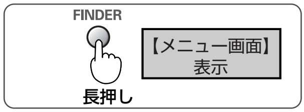
1 曲を繰り返し再生する

選択した 1 曲だけを繰り返し再生します。



1. 【メニュー画面】を表示させます。

[FINDER/MENU ボタン] を長押しして【メニュー画面】を表示させます。



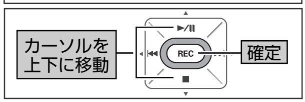
ご注意!

再生中は【メニュー画面】を表示できません。[STOP ボタン ■] を押して再生を停止してください。

2. 「Player Setup」を選びます。

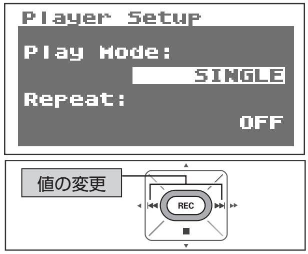
[PLAY ボタン▲] [STOP ボタン▼] で「Player Setup」を選び、[REC ボタン] を押します。





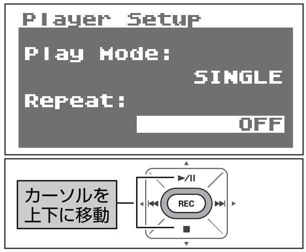
3. 「SINGLE」を選びます。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］で Play Modeの値を変更し、「SINGLE」を選びます。



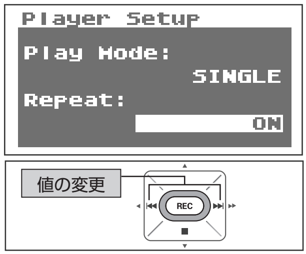
4. 「Repeat」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Repeat」の行にカーソルを合わせます。



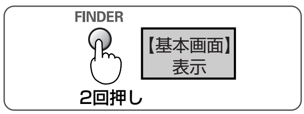
5. 「ON」を選びます。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］で Repeat の値を変更し、「ON」を選びます。



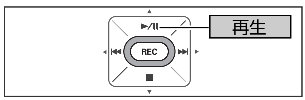
6. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を 2 回押して【基本画面】に戻します。



7. 再生します。

［PLAY ボタン ▶/II ］を押します。

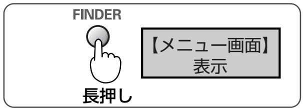


シャッフル再生する

曲の順番を自動的に入れ替えて再生します。

1. 【メニュー画面】を表示させます。

［FINDER/MENU ボタン］を長押しして【メニュー画面】を表示させます。



ご注意!

再生中は【メニュー画面】を表示できません。［STOP ボタン］を押して再生を停止してください。

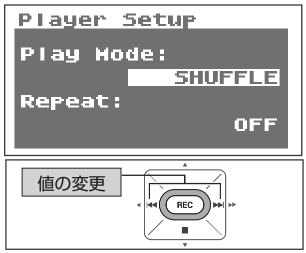
2. 「Player Setup」を選びます。

［PLAY　ボタン▲］［STOP　ボタン▼］で「Player Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。



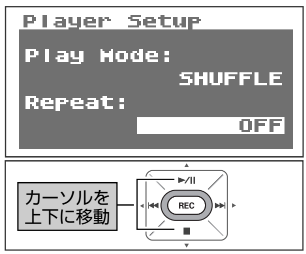
3. 「SHUFFLE」を選びます。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Play Mode の値を変更し、「SHUFFLE」を選びます。



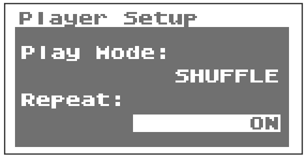
4. 「Repeat」を選びます。

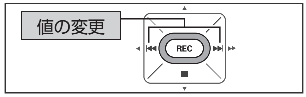
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Repeat」の行にカーソルを合わせます。



5. 繰り返しの設定をします。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶］で Repeat の値を変更します。



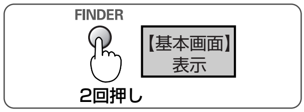


メモ

- 「Repeat」を OFF に設定した場合、現在選択しているフォルダ内のひととおりの曲をシャッフル再生し終わった後に、自動的に停止します。
- 「Repeat」を ON に設定した場合、現在選択しているフォルダ内のひととおりの曲をシャッフル再生し終わった後に、同じ順序で再生を繰り返します。

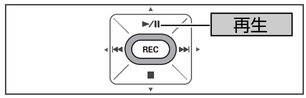
6. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を 2 回押して【基本画面】に戻します。



7. 再生します。

［PLAY ボタン ►/II ］を押します。



メモ

シャッフルしなおすには、一度［停止ボタン］を押して、もう一度［PLAY ボタン］を押します。

順番通り再生する

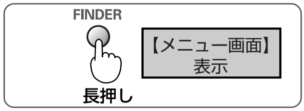
録音されている曲を、曲番号の順にしたがって再生します。

参照

『曲順について』（P.44）

1. 【メニュー画面】を表示させます。

［FINDER/MENU ボタン］を長押しして【メニュー画面】を表示させます。



ご注意!

再生中は【メニュー画面】を表示できません。［STOP ボタン ■ ］を押して再生を停止してください。

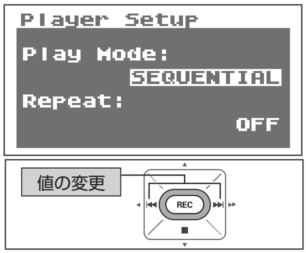
2. 「Player Setup」を選びます。

［PLAY　ボタン▲］［STOP　ボタン▼］で「Player Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。



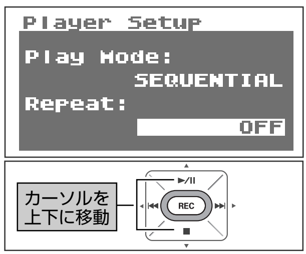
3. 「SEQUENTIAL」を選びます。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］で Play Mode の値を変更し、「SEQUENTIAL」を選びます。



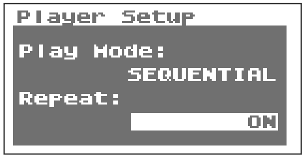
4. 「Repeat」を選びます。

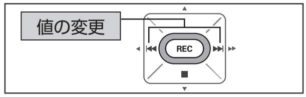
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Repeat」の行にカーソルを合わせます。



5. 繰り返しの設定をします。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］で Repeat の値を変更します。



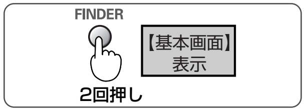


メ モ

- 「Repeat」を OFF に設定した場合、現在選択しているフォルダ内のひととおりの曲を曲順通り再生し終わった後に、自動的に停止します。
- 「Repeat」を ON に設定した場合、現在選択しているフォルダ内のひととおりの曲を曲順通り再生し終わった後に、同じ順序で再生を繰り返します。

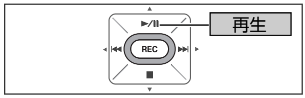
6. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を 2 回押して【基本画面】に戻します。



7. 再生します。

［PLAY ボタン ►/II ］を押します。



再生時にリバーブ効果をかける

R-09 は曲を再生するときに、リバーブ効果をかけることができます。
ホールやライブハウスにいるような心地よい残響音を味わうことができます。

用語

リバーブ

大きなホールなどで演奏しているような残響を加えるエフェクト（効果）です。

ご注意!

リバーブをかけた音を録音することはできません。また録音中のモニター音にリバーブをかけることはできません。

リバーブの種類

リバーブの種類を設定します。設定によってさまざまな空間をシミュレーションできます。

種類	効果
ホール 1 ホール 2	コンサートホールのでの残響音をシミュレーションしたリバーブです。 マイルドで広がりのある長めの残響音が得られます。 ホール 2 はホール 1 より短かめの残響音になります。
ルーム	室内の残響音をシミュレーションしたリバーブです。ライブハウスやスタジオをイメージした明るい音色の短かめの残響音が得られます。
プレート	プレート・リバーブ（金属板の振動を利用したリバーブ・ユニット）をシミュレーションしたリバーブです。高域が伸びた金属的な響きが得られます。

リバーブ効果をかける



1. [REVERB ボタン] を押します。

2. [REVERB ボタン] を押すたびに、リバーブの状態が切り替わります。

リバーブ・オフ → ホール1 → ホール2 → ルーム → プレート →（リバーブ・オフに戻る）

再生可能な曲の種類

R-09 では以下の曲を再生することができます。

		サンプリング周波数（kHz）	サンプルサイズ（bits）
WAV	再生	32、44.1、48	16、24
		サンプリング周波数（kHz）	ビットレート（kbps）
MP3	再生	32、44.1、48	64、96、128、160、192、224、256、320、VBR

用 語

VBR

Variable Bit Rate（可変ビットレート）。
音の密度が低い場面ではビットレートを低くし、密度が高い場面ではビットレートを高くします。

パソコンに曲を取り込む

R-09 とお持ちのパソコンを USB ケーブルで接続することで、R-09 のメモリー・カードの中にある曲をパソコンに取り込み、音楽ソフトウェアなどで使用することができます。また、パソコンの中にある曲を R-09 に送って、R-09 で再生させることもできます。

メモ

USB 2.0（HI-SPEED USB）に対応しています。USB2.0 対応のパソコンに接続した場合、高速な転送が可能です。

ご注意!

パソコンと接続してお使いになる場合は、必ず AC アダプターでお使いください。
曲をコピーしている最中に電池が消耗してしまったときなど、曲が壊れてしまう恐れがあります。

パソコンと接続する

1. パソコンを起動します。

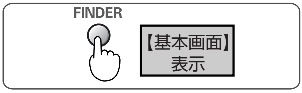
2. メモリー・カードがセットされていることを確認します。

R-09 の［メモリー・カード・スロット］に、メモリー・カードが差し込まれていることを確認します。

参照

『セットする』（P.17）

3. 【基本画面】を表示させせます。

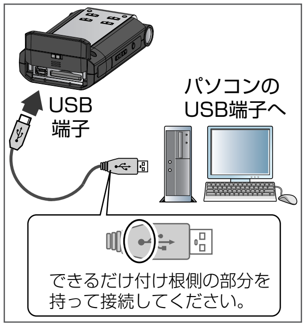


【基本画面】になっていない場合は、［FINDER/MENU ボタン］を何回か押して【基本画面】を表示させせます。

メモ

表示されている画面に応じて、［FINDER/MENU ボタン］を押す回数が異なります。

4. USB ケーブルで接続します。

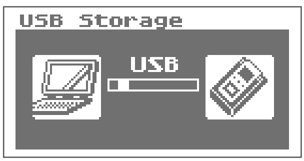


R-09 とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

ご注意!

- USBケーブルをパソコンに接続する際は、プラグの金属部分に触れないようにし、できるだけ付け根部分を持って接続してください。
- メモリー・カードがセットされていない状態でパソコンと接続すると、R-09 のディスプレイに「No Card」と表示されます。
- 【メニュー画面】のときや再生、録音中にはパソコンと接続しても認識されません。いったん R-09 とパソコンを接続している USB ケーブルを外し、手順 3 に戻ってやりなおしてください。
- パソコンと接続された状態【USB 画面】では、各部の機能は使用できません。ボタンやスイッチなどを操作しても無視されます。
- パソコンに「この種類のファイルのディスクを挿入したり〜」と表示された場合は［キャンセル］をクリックします。

しばらくすると R-09 がパソコンに認識され、R-09 のディスプレイには【USB 画面】が表示されます。

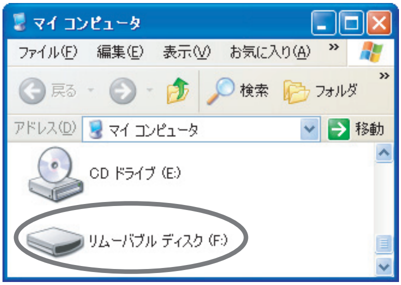


曲を取り込む

Windows

1. マイコンピュータを開きます。

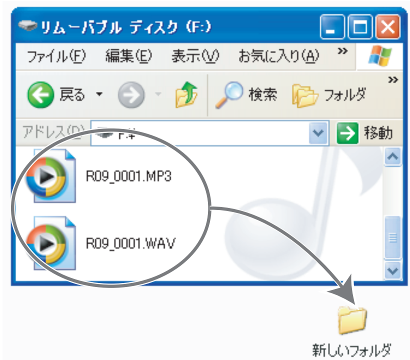
R-09のメモリー·カードがリムーバブル ディスクなどの名前で表示されています。



2. リムーバブル ディスクをダブルクリックします。

3. 必要な曲をコピーします。

リムーバブル ディスクからパソコンに取り込みたい曲を選び、任意の場所にドラッグします。



メモ

- コピー先のフォルダとして、新規フォルダを作成しておくとよいでしょう。
- Windows Media Player などソフトウェアによっては 24bit の WAV は再生できません。
- この章では Windows XP の画面を使用しています。お使いの環境によって表示内容が異なる場合があります。

パソコンから曲を取り込む

パソコンにある曲を R-09 に取り込みたい場合は、R-09 に取り込みたい曲をパソコンの中から選び、リムーバブル ディスクにドラッグします。

R-09 で再生可能な曲

		サンプリング周波数（kHz）	サンプルサイズ（bits）
WAV	再生	32、44.1、48	16、24
		サンプリング周波数（kHz）	ビットレート（kbps）
MP3	再生	32、44.1、48	64、96、128、160、192、224、256、320、VBR

用語

VBR

Variable Bit Rate（可変ビットレート）。
音の密度が低い場面ではビットレートを低くし、密度が高い場面ではビットレートを高くします。

Macintosh

1. 「NO NAME」または「名称未設定」などがデスクトップに表示されます。

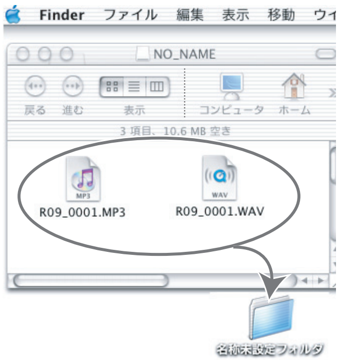
R-09が、「NO NAME」（OS Xの場合）、または「名称未設定」（OS 9の場合）などの名前でデスクトップに表示されます。



2. 「NO NAME」または「名称未設定」をダブルクリックします。

3. 必要な曲をコピーします。

「NO NAME」または「名称未設定」から取り込みたい曲を選び、任意の場所にドラッグします。



メモ

- コピー先のフォルダとして、新規にフォルダを作成しておくとよいでしょう。
- この章ではMac OS 10.4の画面を使用しています。
- お使いの環境によって表示内容が異なる場合があります。

パソコンから曲を取り込む

Macintosh にある曲を R-09 に取り込みたい場合は、R-09 に取り込みたい曲をMacintosh の中から選び、「NO NAME」または「名称未設定」にドラッグします。

R-09 で再生可能な曲

		サンプリング周波数（kHz）	サンプルサイズ（bits）
WAV	再生	32、44.1、48	16、24
		サンプリング周波数（kHz）	ビットレート（kbps）
MP3	再生	32、44.1、48	64、96、128、160、192、224、256、320、VBR

用語

VBR

Variable Bit Rate（可変ビットレート）。
音の密度が低い場面ではビットレートを低くし、密度が高い場面ではビットレートを高くします。

パソコンとの接続を解除する

パソコンと R-09 の接続を解除します。必ず、次の手順に従って接続を解除し、USB ケーブルを抜いてください。

ご注意!

R-09 がパソコンに接続されている状態のときに R-09 の電源を切ったり、USB ケーブルやメモリー・カードを抜いたりしないでください。

Windows

1. **「ハードウェアの(安全な)取り外し」ダイアログを表示させせます。**

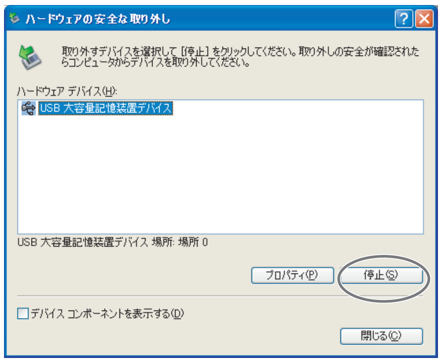
Windows のタスクトレイ内にあるハードウェアの(安全な)取り外し  アイコンをダブルクリックします。

2. **メモリー・カードを選びます。**

表示されたハードウェア デバイスの欄から、R-09 を示す項目を選びます。

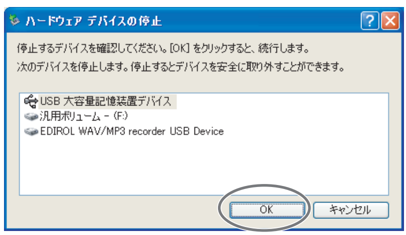
Windows XP、2000	USB 大容量記憶装置デバイス
Windows Me	USB ディスク

3. **ダイアログ中の[停止]をクリックします。**



4. **[OK]をクリックします。**

ハードウェア デバイスの停止ダイアログが表示されたら、R-09 のメモリー・カードを示す項目を選択して[OK]をクリックします。



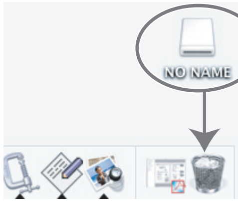
5. **接続を解除します。**

「USB 大容量記憶装置デバイス(または USB ディスク)は、安全に取り外すことができます。」と表示されたら、R-09 とパソコンを接続している USB ケーブルから取り外すことができます。

Macintosh

1. R-09 の接続を解除します。

デスクトップに表示されている、R-09 の接続を解除します。



- Mac OS X では、「NO NAME」を Dock の ⏏ にドラッグします。
  ⏏ は、通常は、Dock 右端のゴミ箱が表示されている場所にドラッグすると、表示がゴミ箱から ⏏ に変わり、接続を解除することができます。
- Mac OS 9 では、「名称未設定」をゴミ箱にドラッグします。

メモ

- Mac OS 10.4 の画面を使用しています。
- お使いの環境によって表示内容が異なる場合があります。

2. 接続を解除します。

デスクトップから「NO NAME」または「名称未設定」のアイコンが消えたら、R-09 とパソコンを接続している USB ケーブルから取り外すことができます。または、R-09 の電源を切ることができます。

Memo

曲やフォルダを扱う

R-09 はメモリー・カードに曲を保存します。
【ファインダー画面】では、これらの曲を一覧し、削除やコピーなどの操作を行うことができます。またフォルダを作成することもできるので、曲をフォルダに移動して管理することも可能です。

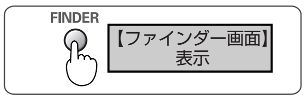
【ファインダー画面】操作一覧

メニュー	選択の対象	効果	手順
Select	曲	曲を選択し【基本画面】に移動します。	P.63
	フォルダ	フォルダを選択し【基本画面】に移動します。	
Information	曲	曲の情報を表示します。また保護を行います。	P.64
	フォルダ	フォルダの情報を表示します。	
Delete	曲	曲を削除します。	P.65
	フォルダ	フォルダを削除します。	
Rename	曲	曲名を変更します。	P.66
	フォルダ	フォルダ名を変更します。	
Move	曲	曲を移動します。	P.67
Copy	曲	曲をコピーします。	P.69
Repair	曲	曲を修復します。 ※ このメニューは、R-09 が壊れた曲を認識した場合にのみ表示されます。	P.70

メニュー	選択の対象	効果	手順
Make Folder	フォルダ、ディレクトリ	新規フォルダを作成します。	P.71

【ファインダー画面】を表示する

[FINDER/MENU ボタン］を押します。
【ファインダー画面】が表示されます。



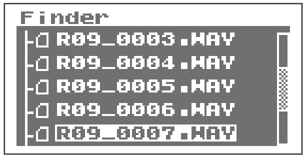
メモ

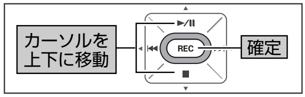
曲名は、上からアルファベット順に表示されます。

選択する（Select）

録音済みの曲一覧から、曲を選択して再生したいときなどにこの操作を行います。
またフォルダを選択すると、現在位置が選択したフォルダに移動し、【基本画面】では選択したフォルダ内の曲が選択できるようになります。

1. 【ファインダー画面】で曲またはフォルダを選びます。



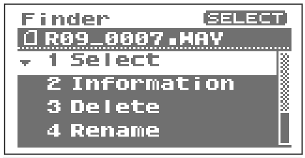


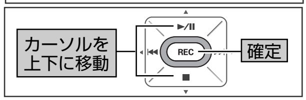
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で曲またはフォルダを選び、［REC ボタン］を押します。

メモ

フォルダの中（下位フォルダ）を選択したいときには、フォルダを選んでから、［FWD ボタン▶］を押します。また、上位フォルダを選択するときには［RWD ボタン◀］を押します。

2. 「Select」を選びます。



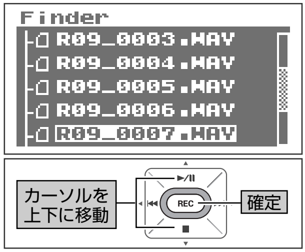


［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Select」を選び、［REC ボタン］を押します。
曲またはフォルダが選択され【基本画面】に戻ります。

曲やフォルダの情報を表示する（Information）

1. 【ファインダー画面】で曲またはフォルダを選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で曲またはフォルダを選び、［REC ボタン］を押します。

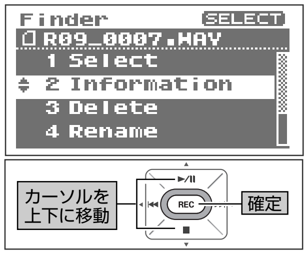


メモ

フォルダの中（下位フォルダ）を選択したいときには、フォルダを選んでから、［FWD ボタン▶ ］を押します。また、上位フォルダを選択するときには［RWD ボタン◀］を押します。

2. 「Information」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Information」を選び、［REC ボタン］を押します。
情報が表示されます。



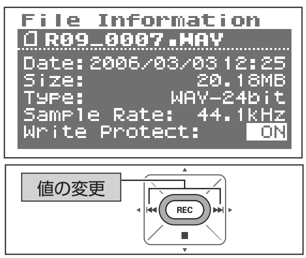
表示される情報	Name（曲またはフォルダ名）
	Date（作成日付）
	Size（サイズ）
	Type（録音モード）
	Sample Rate（サンプリング周波数）
	Write Prptect（プロテクトのオン／オフ）

■ 曲を保護する（Protect）

誤って曲を消したり名前を変更したりしないように、曲を保護する設定を行います。

1. 保護のオン／オフを設定します。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶ ］でオン／オフを切り替えます。



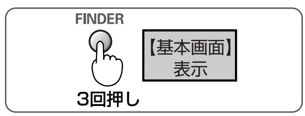
メモ

保護をオンにすると、アイコンに鍵マークがつきます。



3. 【基本画面】に戻します。

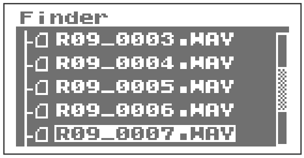
［FINDER/MENU ボタン］を 3 回押して【基本画面】に戻します。

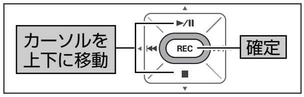


削除する（Delete）

1. 【ファインダー画面】で曲またはフォルダを選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で曲またはフォルダを選び、［REC ボタン］を押します。



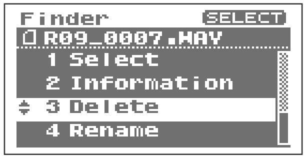


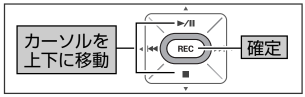
メモ

フォルダの中（下位フォルダ）を選択したいときには、フォルダを選んでから、［FWD ボタン▶ ］を押します。また、上位フォルダを選択するときには［RWD ボタン◀］を押します。

2. 「Delete」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Delete」を選び、［REC ボタン］を押します。

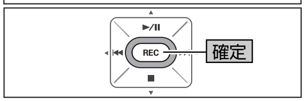




3. ［REC ボタン］を押して確定します。

確認の画面が表示されます。［REC ボタン］を押して確定します。





メモ

中止（キャンセル）する場合は、［REC ボタン］を押す前に［FINDER/MENU ボタン］を押してください。

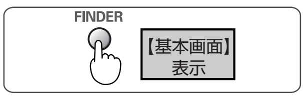
ご注意！

削除中に電源を切らないでください。



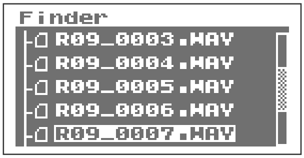
4. 【基本画面】に戻します。

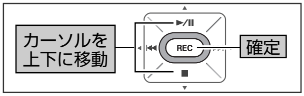
［FINDER/MENU ボタン］を押します。



名前を変更する（Rename）

1. 【ファインダー画面】で曲またはフォルダを選びます。



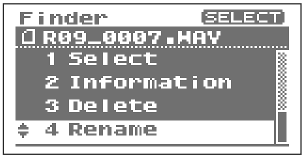


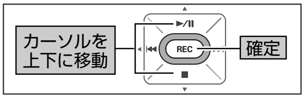
［PLAY ボタン ▲］［STOP ボタン ▼］で曲またはフォルダを選び、［REC ボタン］を押します。

メモ

フォルダの中（下位フォルダ）を選択したいときには、フォルダを選んでから、［FWD ボタン ▶］を押します。また、上位フォルダを選択するときには［RWD ボタン ◀］を押します。

2. 「Rename」を選びます。



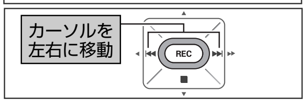


［PLAY ボタン ▲］［STOP ボタン ▼］で「Rename」を選び、［REC ボタン］を押します。

3. 曲名（ファイル名）を編集します。

1. カーソルを移動します。

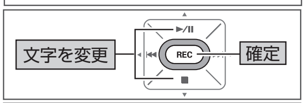




［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン ▶］でカーソルを左右に動かします。

2. 編集します。







変更したい文字の位置にカーソルを移動させたら、［PLAY ボタン ▲］［STOP ボタン ▼］で文字を変更し、［REC ボタン］を押して確定します。

メモ

- ［REVERB ボタン］で文字の挿入、［REPEAT ボタン］で文字の削除を行います。
- 中止する場合は、［REC ボタン］を押す前に［FINDER/MENU ボタン］を押してください。
- 同じ名前が既に存在する場合は、「Already Exists」と表示されます。違う名前に変更してください。

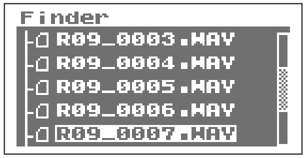
ご注意!

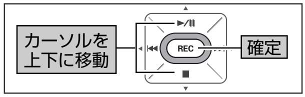
変更中に電源を切ったり、メモリー・カードを抜いたりしないでください。

移動する（Move）

1. 【ファインダー画面】で曲を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で曲を選び、［REC ボタン］を押します。



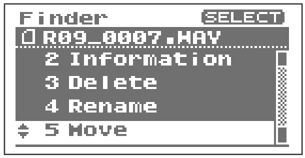


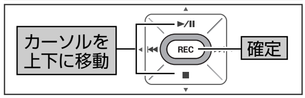
メ モ

フォルダの中（下位フォルダ）を選択したいときには、フォルダを選んでから、［FWD ボタン▶ ］を押します。また、上位フォルダを選択するときには［RWD ボタン◀］を押します。

2. 「Move」を選びます。

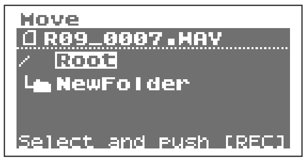
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Move」を選び、［REC ボタン］を押します。

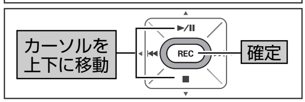




3. 移動先を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で移動先を選び、［REC ボタン］を押します。





メ モ

- 「Root」を選ぶとR-09 の一番上の階層に曲が移動します。
  フォルダを選ぶと、フォルダの中に曲が移動します。
  →『R-09 のメモリー・カードの構成』（P.68）
- 中止する場合は、［REC ボタン］を押す前に［FINDER/MENU ボタン］を押してください。
- フォルダの中（下位フォルダ）を選択したいときには、フォルダを選んでから、［FWD ボタン▶ ］を押します。また、上位フォルダを選択するときには［RWD ボタン◀］を押します。

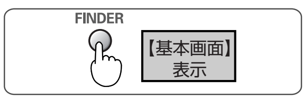
ご注意!

- 移動中に電源を切ったり、メモリー・カードを抜いたりしないでください。
- 移動する曲と同じサイズの空きがメモリー・カードにないと、Move 操作ができません。



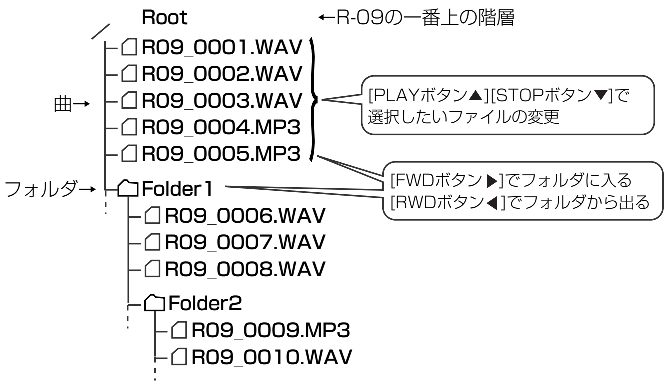
4. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を押します。



R-09 のメモリー・カードの構成

R-09 のメモリー･カードに作成した曲やフォルダの構成は、下図のようになっています。



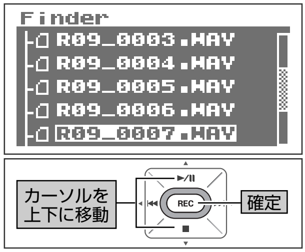
メ モ

- 曲名やフォルダ名は変更することができます。→『名前を変更する（Rename）』（P.66）
- フォルダは任意の場所に作ることができます。→『フォルダを作成する（Make Folder）』（P.71）

コピーする（Copy）

1. 【ファインダー画面】で曲を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で曲を選び、［REC ボタン］を押します。

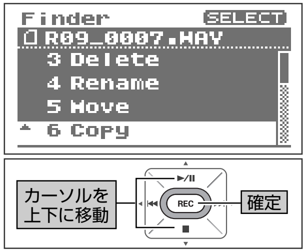


メモ

フォルダの中（下位フォルダ）を選択したいときには、フォルダを選んでから、［FWD ボタン▶ ］を押します。また、上位フォルダを選択するときには［RWD ボタン ◀］を押します。

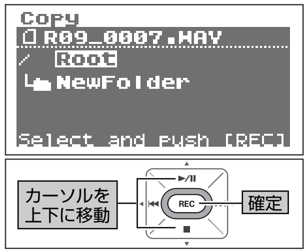
2. 「Copy」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Copy」を選び、［REC ボタン］を押します。



3. コピー先を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］でコピー先を選び、［REC ボタン］を押します。



メモ

- 「Root」を選ぶとR-09 の一番上の階層に曲をコピーします。フォルダを選ぶと、フォルダの中に曲をコピーします。
  →『R-09 のメモリー・カードの構成』（P.68）
- 中止する場合は、［REC ボタン］を押す前に［FINDER/MENU ボタン］を押してください。
- フォルダの中（下位フォルダ）を選択したいときには、フォルダを選んでから、［FWD ボタン▶ ］を押します。また、上位フォルダを選択するときには［RWD ボタン ◀］を押します。

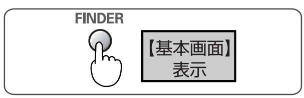
ご注意!

コピー中に電源を切ったり、メモリー・カードを抜いたりしないでください。



4. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を押します。

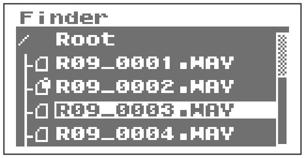


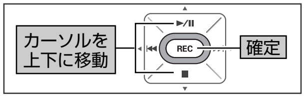
ファイルを修復する（Repair）

録音の最中に、過ってアダプターが抜けてしまったり、カードを抜いてしまうなどのアクシデントのために再生できなくなったファイルを修復します。
R-09 は､そのようなファイルを認識すると､ファインダーに｢Repair｣メニューを表示します。

1. 【ファインダー画面】で曲を選びます。

[PLAY ボタン▲][STOP ボタン▼]で曲を選び、[REC ボタン］を押します。



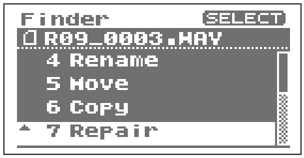


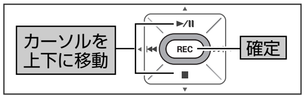
2. 「Repair」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Repair」を選び、［REC ボタン］を押します。

メモ

このメニューは、R-09 が壊れた曲を認識した場合にのみ表示されます。





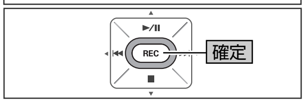
3. ［REC ボタン］を押してファイルを修復します。

確認の画面が表示されます。［REC ボタン］を押して確定します。

メモ

中止(キャンセル) する場合は､[REC ボタン] を押す前に[FINDER/MENU ボタン］を押してください。





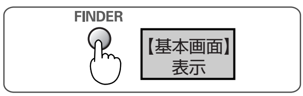
ご注意!

修復中に電源を切らないでください。



4. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を押します。



ご注意!

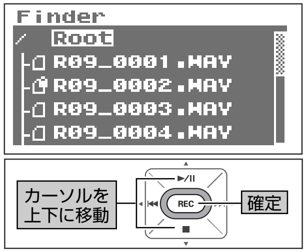
この機能によって､すべてのファイルが復旧できるわけではありません。R-09 の使用中に、電源を切ったり、メモリー・カードを抜いたりしないでください。

フォルダを作成する（Make Folder）

1. 【ファインダー画面】でフォルダを作成したい場所を選びます。

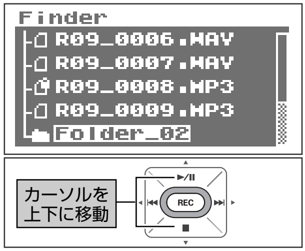
■ Root にフォルダを作成する

1. [PLAY ボタン▲][STOP ボタン▼] で Root を選び、[REC ボタン] を押します。

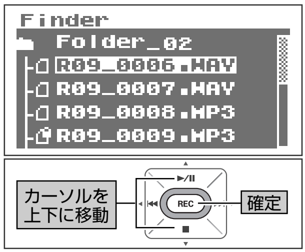


■ フォルダ内にフォルダを作成する

1. [PLAY ボタン▲][STOP ボタン▼] で新規作成するフォルダを置きたいフォルダを選びます。

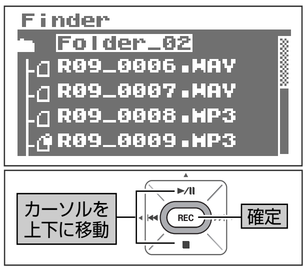


2. [FWD ボタン▶] でフォルダの中に入ります。



3. フォルダを選びます。

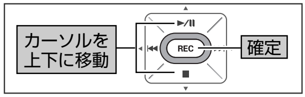
[PLAY ボタン▲][STOP ボタン▼] で、一番上に表示されているフォルダ名を選び、[REC ボタン] を押します。



2. 「Make Folder」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Make Folder」を選び、［REC ボタン］を押します。





3. ［REC ボタン］を押して確定します。

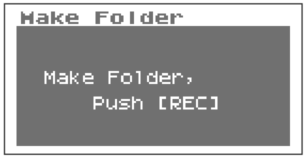
確認の画面が表示されます。［REC ボタン］を押して確定します。
「New Folder」が作成されます。

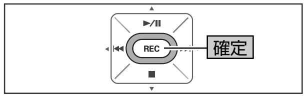
メモ

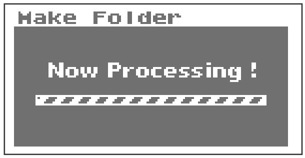
中止する場合は、［REC ボタン］を押す前に［FINDER/MENU ボタン］を押してください。

ご注意!

フォルダ作成中に電源を切ったり、メモリー・カードを抜いたりしないでください。

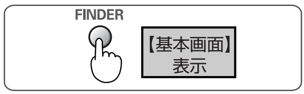






4. 【基本画面】に戻します。

［FINDER/MENU ボタン］を押します。



R-09 本体の各種設定

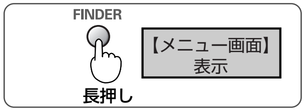
【メニュー画面】では、録音や再生に関する設定や日時の設定など、R-09 本体のさまざまな設定を行います。

設定一覧

カテゴリ	メニュー／効果	値 （初期値：太字）	手順
Recorder Setup	**Sample Rate** 録音するときのサンプリング周波数を設定します。	**44.1**/48	P.74
	Rec Mode 録音するときの曲の種類（録音モード）を設定します。	MP3 64/96/128/192/224/320 **WAV** **16**/24	P.75
	Max File Size 録音で生成するファイルサイズの上限を設定します。	64MB/128MB/256MB/512MB/1GB/**2GB**	P.76
Player Setup	**Play Mode** 曲を再生する順番を設定します。	SINGLE/**SEQUENTIAL**/SHUFFLE	P.77
	Repeat 繰り返し再生を行うかどうかを設定します。	**OFF**/ON	P.78
Display Setup	**Brightness** ディスプレイの明るさを調節します。	1 ～ **5** ～ 10	P.79
	Peak Hold レベル・メーター のピークホールドの設定します。	**OFF**/ON	P.80
	Display Timer 一定期間操作しないときに画面が暗くなるまでの時間を設定します。	**OFF**/2/5/10/20	P.81
	Rec/Peak LED Display Timer に連動して ［REC インジケーター］および［PEAK インジケーター］も消灯させるかどうかを設定します。	**OFF**/ON	P.82
Power Manage	**Auto Power Off** 一定時間操作をしないときに電源が切れるまでの時間を設定します。	OFF/3/5/10/15/**30**/45/60	P.83
	Battery 使用する電池の種類を設定します。	**ALKALINE**/Ni-MH	P.84
Input Setup	**Rec Monitor Sw** 録音時に入力する音声をヘッドホンでモニターする場合には ON にします。モニターしない場合は OFF にします。	OFF/**ON**	P.85
	Plug-in Power MIC 端子にプラグイン・パワード・マイク（パソコン接続用などに使用される電源供給が必要なタイプの小型コンデンサー・マイク）を接続するときは ON に設定します。2.5V の電圧が供給されます。	**OFF**/ON	P.86
Date & Time	**—** 日付けと時刻を設定します。	—	P.87
SD Card	**Information** SD メモリー・カードの情報を表示します。	—	P.88
	Format SD メモリー・カードをフォーマットします。	—	P.19
Factory Reset	R-09 を初期化します。	—	P.89

【メニュー画面】を表示する

[FINDER/MENU ボタン］を長押しします。
【メニュー画面】が表示されます。



ご注意!

曲の再生／録音中は画面の移動ができません。停止状態で行ってください。

録音するときのサンプリング周波数を設定する（Sample Rate）

音質を優先するか録音時間を優先するかなど、目的に応じてサンプリング周波数を設定します。

参 照

『録音の設定をする』（P.26）

1. 【メニュー画面】で「Recorder Setup」を選びます。

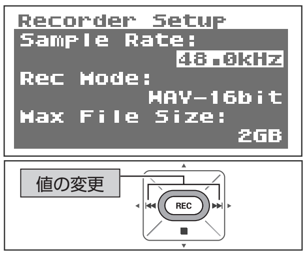
[PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Recorder Setup」を選び、[REC ボタン］を押します。



2. サンプリング周波数（Sample Rate）を設定します。

[RWD ボタン ◀］[FWD ボタン▶ ］で Sample Rate の値を変更します。

設定	44.1（kHz）
	48（kHz）



メ モ

設定を終了する場合は、[FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

録音モードを設定する（Rec Mode）

音質を優先するか録音時間を優先するかなど、目的に応じてサンプリング周波数を設定します。

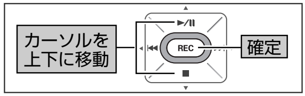
参 照

『録音の設定をする』（P.26）

1. [メニュー画面] で「Recorder Setup」を選びます。

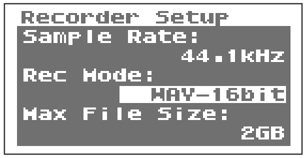
[PLAY ボタン▲] [STOP ボタン▼] で「Recorder Setup」を選び、[REC ボタン] を押します。

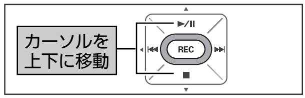




2. 「Rec Mode」を選びます。

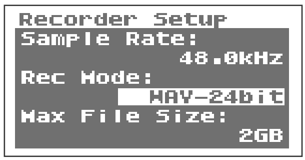
[PLAY ボタン▲] [STOP ボタン▼] で Rec Mode の行にカーソルを合わせます。

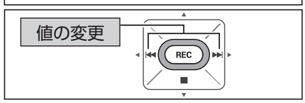




3. 録音モードを設定します。

[RWD ボタン◀] [FWD ボタン▶] で Rec Mode の値を変更します。





設定	MP3 64kbps
	MP3 96kbps
	MP3 128kbps
	MP3 160kbps
	MP3 192kbps
	MP3 224kbps
	MP3 320kbps
	WAV 16bit
	WAV 24bit

メモ

設定を終了する場合は、[FINDER/MENU ボタン] を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

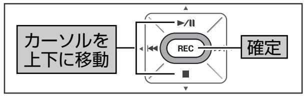
ファイル・サイズの上限を設定する（Max File Size）

録音すると生成されるファイルのファイル・サイズの上限を設定します。
MP3で長時間録音したときに、WAV変換後のサイズが大きすぎて、ソフトウェアによっては読み込めなくなるなどの問題を防ぐことができます。
録音中の曲が設定された上限のサイズに達すると、R-09 は一旦そのファイルを閉じ、新たなファイルに録音を続けます。

1. 【メニュー画面】で「Recorder Setup」を選びます。

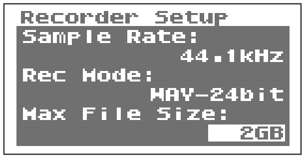
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Recorder Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。

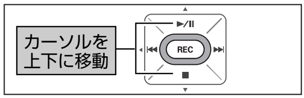




2. 「File Size」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で MaxFileSize の行にカーソルを合わせます。

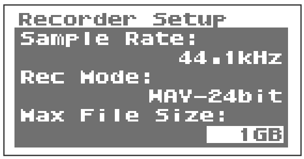


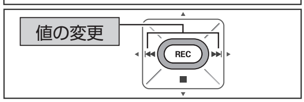


3. ファイル・サイズの上限を設定します。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］で MaxFileSize の値を変更します。

設定	64MB
	128MB
	256MB
	512MB
	1GB
	2GB





メモ

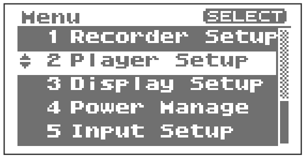
設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

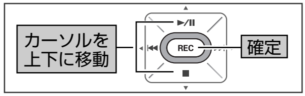
曲の再生モードを設定する（Play Mode）

曲の再生の仕方を設定します。1 番から順番通りに再生する基本的な再生の他、1 曲を繰り返し再生したり、曲の順番を自動的に入れ替えて再生したりすることができます。

1. 【メニュー画面】で「Player Setup」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Player Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。

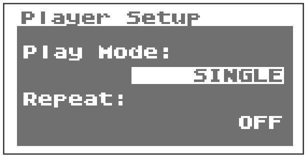


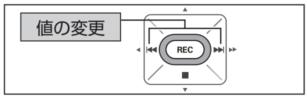


2. 再生モードを設定します。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］で Play Mode の値を変更します。

設定	SINGLE（1曲を再生）
	SEQUENTIAL（順番通りに再生）
	SHUFFLE（シャッフル再生）





参照

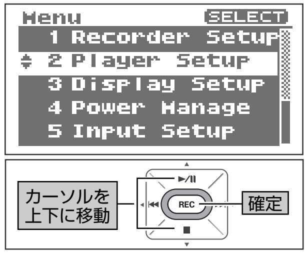
- 『1 曲を繰り返し再生する』（P.48）
- 『シャッフル再生する』（P.50）
- 『順番通り再生する』（P.52）

メモ

設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

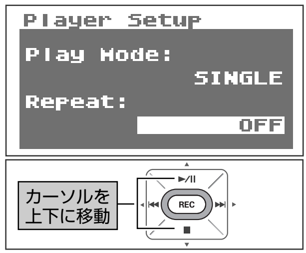
繰り返し再生を行うか行わないかを設定する（Repeat）

繰り返し再生を行うよう設定をした場合、再生モード（P.77）の設定にしたがって、曲を繰り返し再生します。



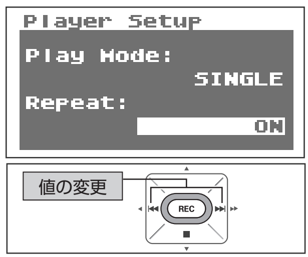
1. 【メニュー画面】で「Player Setup」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Player Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。



2. 「Repeat」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で Repeat の行にカーソルを合わせます。



3. 繰り返し再生の設定をします。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Repeat の値を変更します。

設定	OFF（繰り返し再生しない）
	ON（繰り返し再生する）

メモ

設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

ディスプレイの明るさを調節する（Brightness）

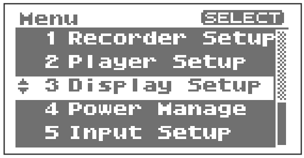
R-09 のディスプレイの明るさを調節します。

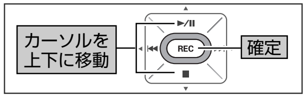
メモ

ディスプレイの明るさを抑えると、電力の消耗が軽減できます。

1. 【メニュー画面】で「Display Setup」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Display Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。





2. 「Brightness」で明るさの度合いを設定します。

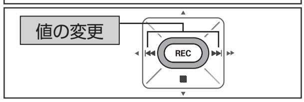
［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Brightness の値を変更し、明るさを調節します。

設定	1（暗い）～**5**～ 10（明るい）

メモ

設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。



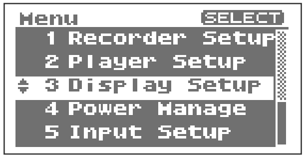


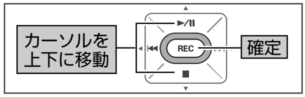
レベル・メーター のピーク・ホールドを設定する（Peak Hold）

レベル・メーター のピーク・ホールドの設定します。ピーク・ホールドを ON にすると、入力信号中のもっとも大きい値を一定間ホールド（保持）して表示します。

1. 【メニュー画面】で「Display Setup」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Display Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。

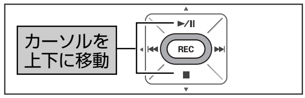




2. 「Peak Hold」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で Peak Hold の行にカーソルを合わせます。



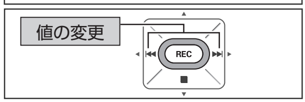


3. ピーク・ホールドの設定をします。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Peak Hold の値を変更します。

設定	OFF（ピーク・ホールドしない）
	ON（ピーク・ホールドする）





メモ

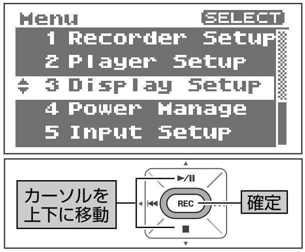
設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

一定期間操作しないときにディスプレイが暗くなるまでの時間を設定する（Display Timer）

電力の消耗を軽減するために、一定時間操作を行わないとディスプレイを暗くする機能です。

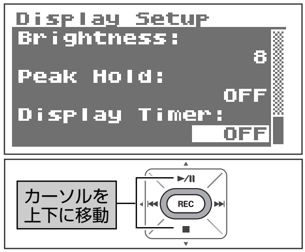
1. 【メニュー画面】で「Display Setup」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Display Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。



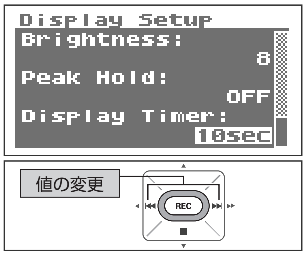
2. 「Display Timer」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で Display Timer の行にカーソルを合わせます。



3. 時間を設定します。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Display Timer の値を変更し、画面が暗くなるまでの時間を設定します。
時間が経っても画面を暗くさせたくない場合は「OFF」に設定します。



（単位：秒）

設定	OFF
	2
	5
	10
	20

参 照

『省電力機能』（P.16）

メ モ

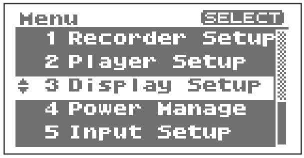
設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

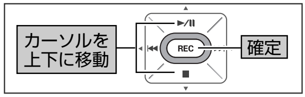
ディスプレイが暗くなったときにインジケーターも消灯する（Rec/Peak LED）

Display Timer の設定に連動して、ディスプレイが暗くなると同時に［REC インジケーター］および［PEAK インジケーター］を消灯させます。

1. 【メニュー画面】で「Display Setup」を選びます。

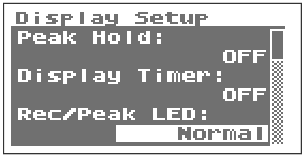
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Display Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。

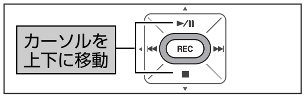




2. 「Rec/Peak LED」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で Rec/Peak LED の行にカーソルを合わせます。



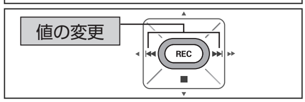


3. インジケーターのオン／オフを設定します。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Rec/PeakLED の値を変更ます。

設定	NORMAL（インジケーターを点灯する）
	Power Save（インジケーターを消灯する）





参照

『省電力機能』（P.16）

メモ

設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

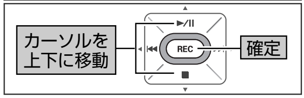
一定時間操作しないときに電源が切れるまでの時間を設定する（Auto Power Off）

電力の消耗を軽減するために、一定時間操作を行わないと電源が自動的にオフになる機能です。
録音、再生の動作中や USB 接続中は、一定時間操作をしなくても電源は切れません。

1. 【メニュー画面】で「Power Manage」を選びます。

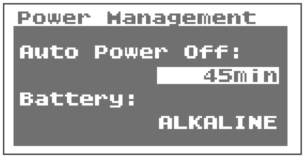
[PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Power Manage」を選び、［REC ボタン］を押します。

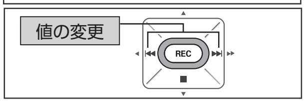




2. 「Auto Power Off」で時間を設定します。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］で Auto Power Off の値を変更し、電源が切れるまでの時間を設定します。
電源が切れないようにする場合は「OFF」に設定します。





（単位：分）

設定	OFF
	3
	5
	10
	15
	30
	45
	60

参照

『省電力機能』（P.16）

メモ

設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

使用する電池の種類を設定する（Battery）

R-09 を電池で使用する場合、セットする電池の種類に合わせてBatt Typeを設定します。

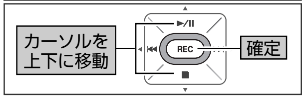
ご注意!

違う種類を設定していると、電池の残量などが正しく表示されません。

1. 【メニュー画面】で「Power Manage」を選びます。

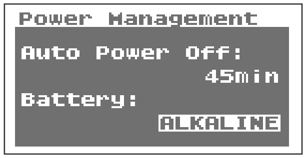
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Power Manage」を選び、［REC ボタン］を押します。

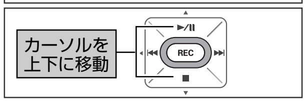




2. 「Battery」を選びます。

［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で Battery の行にカーソルを合わせます。

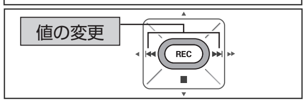




3. 電池の種類を設定します。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Battery の値を変更し、電池の種類を設定します。





設定	ALKALINE（アルカリ電池）
	Ni-MH（ニッケル水素電池）

参照

- 『R-09 を電池でお使いになるときの注意』（P.16）
- 『省電力機能』（P.16）
- 『電池残量表示』（P.16）

メモ

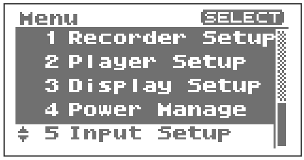
設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

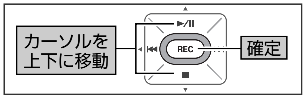
録音時に音声をモニターするかしないかを設定する（Rec Monitor Sw）

録音をするときに、入力される音声をヘッドホンで聴く（モニターする）かどうかを設定します。

1.【メニュー画面】で「Input Setup」を選びます。

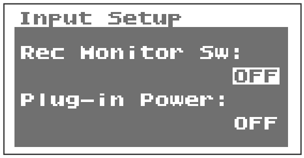
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Input Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。

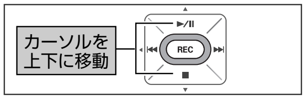




2.「Rec Monitor Sw」でモニターの設定をします。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Rec Monitor Sw の値を変更し、録音時に入力される音声をヘッドホンでモニターするかしないかを設定します。





設定	OFF（モニターしない）
	ON（モニターする）

メモ

設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

ご注意!

録音時に、ヘッドホンからのモニター音が、実際の音より 6ms 遅れますが、これは故障ではありません

プラグイン・パワード・マイクを使用するかしないかを設定する（Plug-in Power）

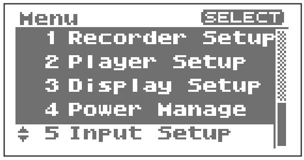
外部マイクを使用するときに設定します。使用するマイクがプラグイン・パワード・マイクの場合は ON に、電池またはプラグイン・パワーから電源の供給が不要なマイクの場合は OFF に設定します。

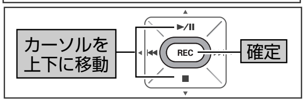
ご注意!

プラグイン・パワード・マイクを使う設定になっている状態で、ダイナミック・マイクや電池内蔵マイクを接続すると故障する恐れがあります。

1. 【メニュー画面】で「Input Setup」を選びます。

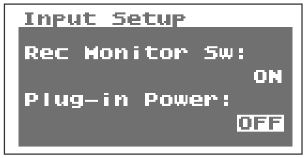
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Input Setup」を選び、［REC ボタン］を押します。

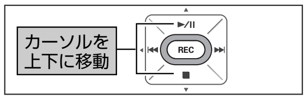




2. 「Plug-in Power」を選びます。

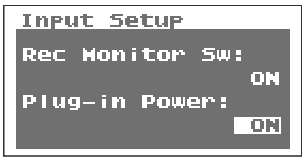
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で Plug-in Power の行にカーソルを合わせます。

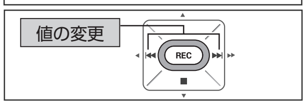




3. プラグイン・パワード・マイクの設定をします。

［RWD ボタン◀］［FWD ボタン▶］で Plug-in Power の値を変更し、プラグイン・パワード・マイクを使用するかしないかを設定します。





設定	**OFF**（プラグイン・パワード・マイクを使用しない）
	ON（プラグイン・パワード・マイクを使用する）

メモ

設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

参照

『外部マイクを使う』（P.33）

日付けと時刻を設定する（Date & Time）

内蔵時計の設定をします。
ここで設定した日時は、録音した曲の情報として使用します。

参 照

『曲やフォルダの情報を表示する（Information）』（P.64）

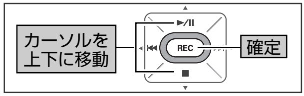
ご注意!

電源オン時、内蔵時計は AC アダプターまたは電池から電力を供給されて動作します。電源オフ時には本体に貯えられた電力を使って一時的に動作しますが、電源オフ状態が数日間続くと内蔵時計の設定は元に戻ってしまいます（初期状態）。この初期状態で電源を ON にすると「Clock Initialized」のメッセージが表示されます。「Clock Initialized」が表示されたら、再度、日付けと時刻を設定してください。

1. 【メニュー画面】で「Date & Time」を選びます。

［PLAY ボタン ▲］［STOP ボタン ▼］で「Date & Time」を選び、［REC ボタン］を押します。



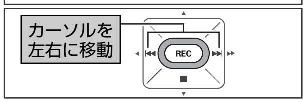


2. 日付けと時刻を設定します。

1. カーソルを移動します。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン ▶］でカーソルを左右に動かします。

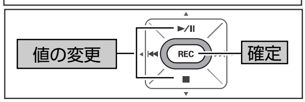




2. 日時を設定します。

変更したい数字の位置にカーソルを移動させたら、［PLAY ボタン ▲］［STOP ボタン ▼］で日付けと時刻の値を変更し、［REC ボタン］を押して確定します。





メ モ

- 中止する場合は［REC ボタン］を押す前に［FINDER/MENU ボタン］を押してください。
- 設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

ご注意!

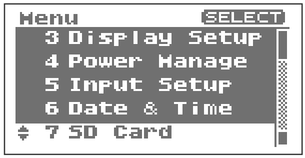
変更中に電源を切らないでください。

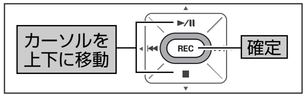
SD メモリー・カードの情報を表示する（Information）

メモリー・カードの使用状況やプロテクト設定などを確認することができます。

1. 【メニュー画面】で「SD Card」を選びます。

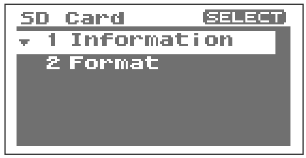
[PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「SD Card」を選び、［REC ボタン］を押します。

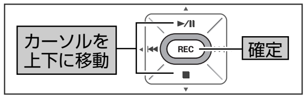




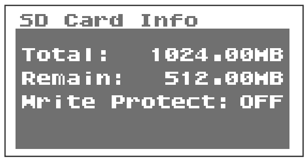
2. 「Information」を選びます。

[PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Information」を選び、［REC ボタン］を押します。





情報が表示されます。



表示される情報	Total（総容量）
	Remain（空き容量）
	Write Protect（プロテクトのオン／オフ）

メモ

設定を終了する場合は、［FINDER/MENU ボタン］を押して、ひとつずつ前の画面に戻します。

SD メモリー・カードをフォーマットする（Format）

参 照

メモリー・カードのフォーマットについては、『フォーマットする』（P.19）を参照してください。

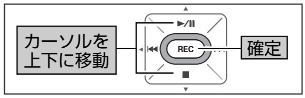
R-09 を初期化する（Factory Reset）

R-09 の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
この操作によってメモリー・カード内の曲が消失することはありません。

1. 【メニュー画面】で「Factory Reset」を選びます。

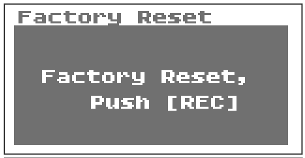
［PLAY ボタン▲］［STOP ボタン▼］で「Factory Reset」を選び、［REC ボタン］を押します。

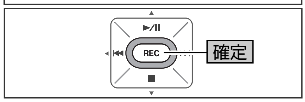




2. ［REC ボタン］を押して確定します。

確認の画面が表示されます。［REC ボタン］を押して確定します。



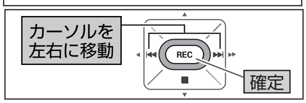


3. 「Yes」を選びます。

確認の画面が表示されます。

［RWD ボタン ◀］［FWD ボタン▶ ］で「Yes」を選び、［REC ボタン］を押します。





参 照

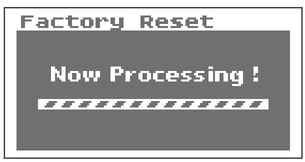
初期値については、P.73 の表をご覧ください。

メ モ

初期化をしないときは、［FINDER/MENU ボタン］を押します。

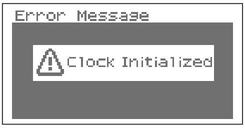
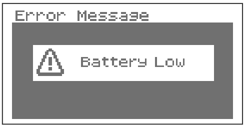
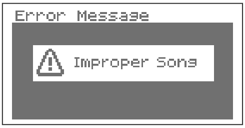
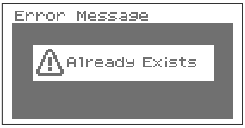
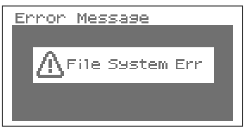
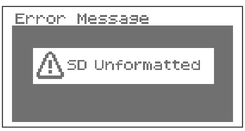
ご注意!

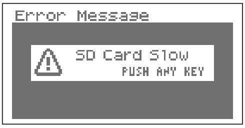
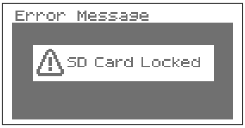
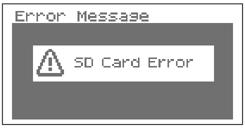
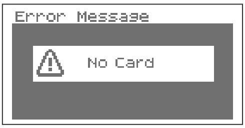
初期化中に電源をオフにしないでください。



メッセージ一覧

ディスプレイに表示される主なメッセージについて説明します。

メッセージ	症状
	**Clock Initialized** 内蔵時計用の電力が無くなってしまったため、内蔵時計を初期化しました。日付けと時刻を設定してください。
	**Battery Low** 内蔵電池の残り容量が不足してきました。 電池を交換する必要があります。または AC アダプターでお使いください。
	**Improper Song** R-09 では取り扱うことができないファイル形式の曲です。
	**Already Exists** 同じ名前の曲もしくはフォルダがあります。 別の名前で曲やフォルダを作成してください。
	**Song Protected** 曲が保護されています。Write protect を OFF にしてから操作してください。
	**Name Too Long** 名前が長すぎます。
	**File System Err** メモリー・カードの状態に問題があります。 R-09 でメモリー・カードをフォーマットしてください。
	**SD Unformatted** メモリー・カードがフォーマットされていません。 R-09 でメモリー・カードをフォーマットしてください。

メッセージ	症状
	**SD Card Full** メモリー・カードの空き容量が不足しています。 曲をパソコンにコピーし、メモリー・カードの容量を確保してください。
	**SD Card Slow** メモリー・カードへの書き込みが間に合いませんでした。 R-09 で動作確認のとれているメモリー・カードをお使いください。 また、曲の書き込みや削除を繰り返すことによって、メモリー・カード内の曲の並びが不規則になり処理能力が落ちたりすることがあります。この場合は、メモリー・カードをフォーマットしなおしてお使いください。
	**SD Card Locked** メモリー・カードが Lock されています。メモリー・カードを取り出し Lock を解除してからお使いください。
	**SD Card Error** メモリー・カードのアクセスで異常が発生しました。 メモリー・カードが壊れている可能性があります。
	**No Card** メモリー・カードがセットされていません。 メモリー・カードを R-09 にセットしてください。
	**HOLD is ON** HOLD スイッチが ON になっているため、操作できません。 操作を行う場合は、HOLD スイッチを OFF にしてください。
	**Now Recording** 録音中です。 操作したい場合は、録音を中止してください。
	**Now Playing** 再生中です。 操作したい場合は、再生を中止してください。
	**AGC is ON** AUTO GAIN CONTROL スイッチが ON になっているため、インプット・レベル・ボタンの操作はできません。 操作を行う場合は、AUTO GAIN CONTROL スイッチを OFF にしてください。

困ったときには

トラブルを解決するためのヒントが書かれています。
また、ホームページでは最新情報が公開されています。あわせてご覧ください。
(http://www.roland.co.jp/cs)
それでも解決しない場合には、巻末に記載の『お問い合わせの窓口』へお問い合わせください。

録音に関するトラブル

録音したマイクの音がLチャンネル（左）側からしか聞こえない

- 外部マイクを使用する場合には、マイクがステレオかモノラルかを確認してください。お使いになったマイクがモノラル対応の場合は、L チャンネル（左）側のみに録音されます。モノラル対応のマイクで両側のチャンネルに録音するには、[外部マイク・タイプ切り替えスイッチ] で、マイクのタイプを「MONO」に設定してください。

参照『外部マイク・タイプ切り替えスイッチ』(P.9)

録音が開始できない

- メモリー・カードの残容量を確認してください。16kB 以下になっていると録音できません。録音待機状態にもなりません。

参照『録音時間の目安』(P.28)

マイクが使えない

- [内蔵マイク] を使用する場合には、他の入力用端子には何も接続しないでください。[マイク入力端子] か [ライン入力端子] にマイク、ケーブル、機器などが接続されていると [内蔵マイク] は使用できません。

参照『マイク入力端子』(P.8)、『ライン入力端子』(P.8)、『内蔵マイクを使う』(P.29)

- 外部マイクを使用する場合には、[マイク入力端子] 以外には何も接続しないでください。[ライン入力端子] にマイク、ケーブル、機器などが接続されていると [マイク入力端子] からの入力は無視されてしまいます。

参照『マイク入力端子』(P.8)、『ライン入力端子』(P.8)、『外部マイクを使う』(P.33)

- 外部マイクを使用する場合には、使用するマイクに合わせて設定を行ってください。

参照『使用するマイクに合わせて設定を行います。』(P.35)

- ファンタム電源のマイクを接続していませんか？
  R-09 はファンタム電源のマイクに対応していません。

録音した音が歪む

- インプット・レベルが大きすぎると音が歪んでしまいます。適切な入力レベルになるように設定してください。

参照『録音レベルを調節する』(P.37)

録音したファイルが再生できない

- 録音の最中に過ってアダプターが抜けてしまったり、カードを抜いてしまうと、ファイルが壊れ再生ができなくなります。ファイルのリペア機能を使って修復することができる場合があります。

参照『ファイルを修復する（Repair）』（P.70）

録音ができない

- 残り時間が少ないと録音できません。録音待機状態に、録音可能な残時間がディスプレイに表示されます。0:00:00 になっていたら残時間がまったくないことを意味します。メモリー・カードの残容量を確認してください。

参照『録音時間の目安』（P.28）

- メモリー・カードが正しくセットされていないと録音ができません。メモリー・カードが認識されていないと、ディスプレイに「No Card」と表示されます。電源をいったん切り、メモリー・カードをセットしなおしてください。

参照『セットする』（P.17）

- メモリー・カードがフォーマットされていないと、メモリー・カードが認識されず、ディスプレイに「SD unformatted」と表示されます。メモリー・カードをフォーマットしてください。

参照『フォーマットする』（P.19）

- メモリー・カードの書き込み禁止（LOCK）機能がオンになっていると録音できません。書き込み禁止を解除してください／

参照『SD メモリー・カードについて』（P.20）

- ［インプット・レベル・ボタン］で設定した入力レベルが小さすぎると正しく録音できません。入力レベルを正しく設定してください。

参照『録音レベルを調節する』（P.37）

- 外部マイクを接続して録音する場合、［マイク入力端子］へ正しく接続してください。また、［外部マイク・タイプ切り替えスイッチ］の設定も確認してください。

参照『マイク・ゲイン切り替えスイッチ』（P.9）

- メモリー・カードは R-09 本体でフォーマットしないと正しく動作しません。コンピューターでフォーマットすると、フォーマットの種類が違うことがあります。その場合、録音を開始した直後に停止したり正しく録音ができない場合があります。

参照『フォーマットする』（P.19）

モノラル・マイクで録音したのにステレオの曲ができてしまう

- R-09 はステレオで録音を行います。モノラル・マイクを接続した場合、［外部マイク・タイプ切り替えスイッチ］を「MONO」に設定しても、左右（L,R）のトラックに同じ音を録音してステレオの曲を作成します。

再生に関するトラブル

音が出ない

- 出力ボリュームが小さすぎると音が聴こえないことがあります。少しずつ出力ボリュームを大きくしてみてください。

参照『ヘッドホン・ボリューム・ボタン（+）（−）』（P.7）

- ヘッドホンやスピーカーなどが正しく接続されているか確認してください。

参照『基本的な接続』（P.42）

再生できない

- 曲名の付け方が正しいか確認してください。「.」（ピリオド）で始まっている曲は R-09 では扱うことができません。

- R-09 では、曲の拡張子が .MP3、.WAV の曲のみ再生することができます。
また、曲が壊れていると再生ができません。

参照『再生可能な曲の種類』（P.55）
『名前を変更する（Rename）』（P.66）
『メッセージ一覧』（P.90）

意図しない曲が再生される

- 曲の再生モードがシャッフル再生（SHUFFLE）になっている可能性があります。このとき、R-09 は次に再生する曲をランダムに選んで再生していきます。通常再生（SEQUENTIAL）に設定しなおしてください。

参照『曲の再生モードを設定する（Play Mode）』（P.77）
『シャッフル再生する』（P.50）

日本語の曲名またはフォルダ名が正しく表示されない

- 曲名またはフォルダ名に日本語（2 バイトの文字）が使われている場合、R-09 のディスプレイには「_MBC000.WAV」、「_MBC001.MP3」というような _MBC の後に番号がついた名前で表示されます。
正しい名前がわかりにくくなるため、日本語（2 バイトの文字）を含まない名前の使用をおすすめします。

参照『名前を変更する（Rename）』（P.66）

その他のトラブル

電源が入らない

- AC アダプターが正しく接続されているか確認してください。
  電池を使用する場合は、電池の向きや浮きなど正しくセットされているか確認してください。また、電池の残容量がない場合がありますので、新しい電池を用意してください。

  参照『電源を入れる／電源を切る』（P.14）

- AC アダプターや電池の状態に問題がないのに R-09 の電源が入らない場合は、故障している可能性があります。保証書の封筒に記載されている『修理の窓口』へお問い合わせください。

パソコンと接続しても認識されない

- R-09 にメモリー・カードがセットされていないとパソコンに正しく認識されません。その場合、パソコンのデスクトップ上に表示されていないときなどは、メモリー・カードのセット状態を確認してください。

  参照『セットする』（P.17）

[FINDER/MENU ボタン］を長押ししても【メニュー画面】にならない

- 再生中、録音中、録音待機の状態のときは、［FINDER/MENU ボタン］を長押ししても【メニュー画面】になりません。
  いったん、再生または録音を終了し、その後［FINDER/MENU ボタン］を長押ししてください。

ディスプレイが暗くなる

- 電池で使用している場合、Display Timer の設定によっては操作をしていないときにディスプレイが暗くなります。

  参照『一定期間操作しないときにディスプレイが暗くなるまでの時間を設定する（Display Timer）』（P.81）

勝手に電源が切れてしまう

- Auto Power Off の設定によっては、一定時間操作をしていないと自動的に電源が切れます。

  参照『一定時間操作しないときに電源が切れるまでの時間を設定する（Auto Power Off）』（P.83）

- 電池使用時は、電池の残容量が少なくなると電源が切れます。新しい電池に入れ替えてください。

設定した内容が消えてしまった

- 【メニュー画面】などで設定した内容がすべてもとに戻ってしまっている場合は、誤って R-09 を工場出荷時の状態に戻してしまった可能性があります。再度設定してください。

参照『R-09 を初期化する（Factory Reset）』（P.89）

USB ケーブルを使ってパソコンに接続したけど認識されない

- 【メニュー画面】のときや再生、録音中にはパソコンと接続しても認識されません。いったん R-09 とパソコンを接続している USB ケーブルを外し、やりなおしてください。

参照『パソコンと接続する』（P.56）

選曲しているときに曲名の表示が遅い

- 曲が壊れていたり、不正な曲や対応していない形式の MP3、容量が大きい曲については、拡張子が .MP3 や .WAV であっても、R-09 で演奏が可能かどうかを判断するのに時間がかかるため、選曲時の表示が遅くなります。

参照『再生可能な曲の種類』（P.55）

ヘッドホンでモニターしているのにハウリングが起こる

- オープンエアー・タイプのヘッドホンを使用して録音状況をモニターしているときに、R-09 に近づくとヘッドホンからもれる音を拾ってハウリングを起こすことがあります。R-09 の内蔵マイクは繊細な音も集音してしまいますので、あまり近づきすぎないように気をつけてください。

内蔵時計がリセットされる

- AC アダプターが接続されていたり電池がセットされている場合、内蔵時計はそこから電力を供給されて動作します。電源オフ時には本体に貯えられた電力を使って一時的に動作しますが、電源オフ状態が数日間続くと内蔵時計の設定は元に戻ってしまいます（初期状態)。この初期状態で電源を ON にすると「Clock Initialized」のメッセージが表示されます。「Clock Initialized」が表示されたら、再度、日付けと時刻を設定してください。

参照『日付けと時刻を設定する（Date & Time）』（P.87）

索引

へ

ほ

ま

め

も

ら

り

る

ろ

主な仕様

WAV/MP3 RECORDER：R-09

レコーダー部

● **トラック数**
2（ステレオ）

● **信号処理**
AD/DA 変換：24 ビット、44.1/48kHz

● **データ・タイプ**
＜録音時＞※ ステレオのみ

フォーマット	MP3（MPEG-1 audio layer 3）
サンプリング周波数	44.1/48kHz
ビット・レート	64/96/128/160/192/224/320kbps

フォーマット	WAV
サンプリング周波数	44.1/48kHz
ビット数	16/24 ビット

＜再生時＞

フォーマット	MP3（MPEG-1 audio layer 3）
サンプリング周波数	32/44.1/48kHz
ビット・レート	64/96/128/160/192/224/256/320kbps、または VBR（Variable Bit Rate）

フォーマット	WAV
サンプリング周波数	32/44.1/48kHz
ビット数	16/24 ビット

● **記憶メディア**
SD メモリー・カード（64MB ～ 4GB まで対応）
SDHC 規格対応

録音可能時間（目安）　　単位：分

設定	メモリー・カードのサイズ					
	64MB	128MB	512MB	1GB	2GB	4GB
WAV（16 ビット／ 44.1kHz）	5	11	44	88	180	360
WAV（16 ビット／ 48kHz）	5	10	40	81	166	330
WAV（24 ビット／ 44.1kHz）	3	7	29	59	120	240
WAV（24 ビット／ 48kHz）	3	7	27	54	110	220
MP3 128kbps	62	126	490	980	1,993	3,800
MP3 224kbps	35	70	280	560	1,139	2,700
MP3 320kbps	25	50	196	392	797	1,590

※　録音時間は目安です。カードの仕様などにより変わることがあります。
※　録音されたファイルが複数ある場合、合計の録音時間はこれより小さくなります。

入出力

● **オーディオ入力**
内蔵マイク（ステレオ）
マイク入力端子
（ステレオ・ミニ・タイプ、プラグインパワー対応）
ライン入力端子（ステレオ・ミニ・タイプ）
※　マイク、ライン同時使用不可（ライン入力優先）

● **オーディオ出力**
ヘッドホン端子（ステレオ・ミニ・タイプ）
デジタル出力端子（オプティカル・ミニ・タイプ）
※　ヘッドホン端子とデジタル出力端子は同一端子を共用

● **規定入力レベル（可変）**
マイク入力: -36dBu（デフォルトのインプット・レベル）
ライン入力：0dBu（デフォルトのインプット・レベル）

● **入力インピーダンス**
マイク入力：20kΩ
ライン入力：17kΩ

● **出力レベル**
25mW（16Ω 負荷時）

● **推奨負荷インピーダンス**
16Ω 以上

● **周波数特性**
20Hz ～ 22kHz

● **USB インターフェース**
ミニ B タイプ
※　USB 2.0/1.1 マス・ストレージ・デバイス・クラス対応

エフェクト

リバーブ（再生時のみ）
４種類（Hall1、Hall2、Room、Plate）

その他

● **ディスプレイ**
128×64ドット･グラフィック･ディスプレイ

● **電源**
AC アダプター、単 3 形（アルカリ乾電池またはニッケル水素電池）× 2

● **消費電流**
360mA

● **外形寸法**
62.6（幅）× 102（奥行き）× 29.1（高さ）mm

● **質量**
145g（電池、メモリー・カード含む）

付属品

取扱説明書
AC アダプター
SD メモリー・カード（64M バイト）
USB ケーブル（ミニ B タイプ：1m）
ローランド ユーザー登録カード
保証書

※　0dBu ＝0.775Vrms

※　連続使用時のアルカリ電池の寿命
連続再生時：約 5.5 時間
連続録音時　：約４時間
（使用状況によって異なります）

※　製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

⚠	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
分解禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
電源プラグをコンセントから抜く	●は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠警告

- この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。
- この機器およびACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。
- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。
- 次のような場所での使用や保存はしないでください。
  - ○温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
  - ○水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
  - ○雨に濡れる場所
  - ○ホコリの多い場所
  - ○振動の多い場所
- この機器を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。
- ACアダプターは、必ず付属のものを、AC100Vの電源で使用してください。

⚠警告

- 電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。
- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。
- 次のような場合は、直ちに電源を切ってACアダプターをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。
  - ○ACアダプター本体、電源コード、またはプラグが破損したとき
  - ○煙が出たり、異臭がしたとき
  - ○異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
  - ○機器が（雨などで）濡れたとき
  - ○機器に異常や故障が生じたとき
- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

⚠ 警告

- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

- 外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

- 電池は、充電、加熱、分解したり、または火や水の中に入れたりしないでください。

⚠ 注意

- この機器とAC アダプターは、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

- AC アダプターを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

- 定期的にAC アダプターを抜き、乾いた布でプラグ部分のゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外してください。AC アダプターとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。

- 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

- 濡れた手でAC アダプターのプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。

- この機器を移動するときは、AC アダプターをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。

- お手入れをするときには、電源を切ってAC アダプターをコンセントから外してください（P.14 ）。

⚠ 注意

- 落雷の恐れがあるときは、早めに AC アダプターをコンセントから外してください。

- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください。
  - ○ 電池の + と - を間違えないように、指示どおり入れてください。
  - ○ 新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
  - ○ 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
  - ○ 液漏れを起こした場合は、柔らかい布で電池ケースについた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。また、漏れた液が身体についた場合は、皮膚に炎症を起こす恐れがあります。また眼に入ると危険ですのですぐに水でよく洗い流してください。
  - ○ 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。

- 使用済みの電池は、各市町村のゴミ分別収集のしかたに従って、捨ててください。

使用上のご注意

103 ページ記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源、電池のセットや交換について

- 本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御の製品やモーターを使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズにより本機が誤動作したり、雑音が発生する恐れがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- AC アダプターを長時間使用すると AC アダプター本体が多少発熱しますが、故障ではありません。
- この機器は消費電流が大きいため、AC アダプターの使用をお薦めします。電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- 電池のセットや交換は、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、他の機器と接続する前にこの機器の電源を切った状態で行なってください。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

設置について

- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては本機のゴム足が、設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
  ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

- お客様がこの機器や AC アダプターを分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 修理に出される場合、記憶した内容が失われることがあります。大切な録音データはパソコンにバックアップし、また記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

メモリー・バックアップについて

- 数日間この機器の電源を入れない場合、セットした日時などの内容が失われます。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより、失われることがあります。失っても困らないように、大切な録音データはパソコンにバックアップし、また記憶内容をメモして保存しておいてください。
- メモリー・カードの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ディスプレイから多少音がすることがありますが、故障ではありません。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- この機器が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄する場合、各市町村のゴミの分別基準に従って行ってください。
- 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。音が極端に小さくなったり、全く聞こえなくなる場合があります。ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。
- 設置条件によっては本体や接続されたマイクの金属部に触れると違和感を覚えたりざらつくような感じになるときがあります。これは人体に全く害のない極微量の帯電によるものですが、気になる方は、必要に応じて電池でご使用ください。

カードをお使いになる前に

メモリー・カードの取り扱い

- メモリー・カードは、確実に奥まで差し込んでください。（17 ページ）
- メモリー・カードの端子の部分に触れたり、汚したりしないでください。
- メモリー・カードは精密な電子部品で作られていますので、取り扱いについては次の点に注意してください。
  - ○静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。
  - ○端子部に手や金属で触れない。
  - ○曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
  - ○直射日光の当たる場所や、閉め切った自動車の中などに放置しない。（保存温度：-25 度～ 85 度）
  - ○水に濡らさない。
  - ○分解や改造をしない。

著作権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、公演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音し、配布、販売、貸与、公演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本機を使用しないでください。あなたが本機を用いて他者の著作権を侵害しても、弊社は一切責任を負いません。

※ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

※ Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。

※ Apple、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。

※ Mac OS は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。

※ SDHC ロゴは商標です。

※ MPEG Layer-3 オーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS 社と THOMSON multimedia 社よりライセンスを得ています。

Fraunhofer Institut Integrierte Schaltungen

※ 文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせの窓口

● ローランド製品全般に関するお問い合わせ先
デジタル・ピアノ、シンセサイザー、デジタル・レコーダー、BOSSエフェクターなど

お客様相談センター　050-3101-2555

● コンピューター・ミュージック関連製品に関するお問い合わせ先
オーディオ＆MIDIインターフェース、DTM音源モジュール、DTMソフトウェアなど

DTMホットライン　050-3101-2570

電話受付時間：　午前10時～午後5時（日曜および弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 修理に関するお問い合わせ先

商品をお求めの販売店か、保証書封筒裏面にある「修理の窓口」（サービスの窓口）に記載のサービスステーションへご相談ください。

● 最新サポート情報
製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ　http://www.roland.co.jp/

’06. 11.01 現在

04569389-04
04569389　07-01-4N